

## 分科会討議日程

## 第20分科会 「平和・人権と国際連帯の教育」

共同研究者氏名(所属)	宮下与兵衛(東京都立大学客員教授)		
分科会役員氏名(学校名)	小宮山 勝人(篠ノ井高校)	井出 健(野沢南高校)	
	池上 宏(田川高校)	渡邊 絵(松本深志高校)	
	吉越 敦子(和小学校)	上島 理歩(伊那東小学校)	

11月4日(土)

時間割	レポート題名	学校(支部)	氏名	
討議 I 13:00～ 15:00	討議の柱: 人権の課題を通して平和を学ぶ			
	1	共同研究者から	東京都立大学	宮下 与兵衛
	2	課題提起(情勢と学校現場から)	篠ノ井高校(更埴)	小宮山 勝人
	3	地域の満州開拓慰霊碑が6年生に語る戦争と平和	竜丘小学校(下伊那)	坂下 力
討議 II 15:10～ 17:00	討議の柱: 国際連帯を通して平和を学ぶ			
	4	生徒による平和学習の取り組み ～映画「カンタ！ ティモール」上映会と東ティモール留学報告～	上田染谷丘高校(上小)	村山 美耶子
	5	戦争加害の歴史から考える～戦争を学び続ける意味～	軽井沢西部小学校(佐久)	高橋 朋之
討議 III 17:00～ 17:30	6	韓国の様々な事象を、体験・交流の学習活動を通して、五感で感じ、学んでいく学習を願って	神科小学校(上小)	横澤 芳幸
		まとめ		

参加者への 連絡事項	
---------------	--

## 第 20 分科会 「平和・人権と国際連帯の教育」課題提起（情勢と学校現場から）

### I 戦争と平和、戦争体験をどのように継承するか。

#### 1 イスラエル・パレスチナ「戦争状態」&ウクライナ侵攻

10月23日現在 イスラエル側犠牲者 1400 人余り

パレスチナ側犠牲者 5000 人強（死亡者の 40%は子どもたち）

「高校生です。最近ニュースで話題になるイスラエルの紛争ですが、正直言って何が起きているのかよく理解できていません。自分で調べろという話ですが、どなたか分かりやすく説明していただけないでしょうか？」（最近の Web サイトの投稿質問）

ロシアによるウクライナ侵略行為が開始された当初、高校生が平和解決を願う様々な行動があり、デモ行進や教師による解説授業を開講して要望に応じる動きがありました。ロシアのような身近な国の蛮行はやはり関心度が高くなります。

パレスチナ、イスラム組織ハマスによるイスラエルへの無差別攻撃を発端とする「戦争状態」に関しては中東情勢の複雑さに加え、宗教上の聖地の問題やユダヤ人迫害の歴史を踏まえると理解するためのハードルが高く、日本人にとって遠い国の出来事と感じている節があるのではないかと感じます。10月25日長野駅前の原水協、平和委員会、県労連合同の訴えの通り、一刻も早くイスラエル軍によるガザへの攻撃停止と両者の停戦、住民への人道支援が行われるべきと思います。

上記の質問のように高校生年代の若者たちは「何かしなければ」という思いはあるし、日本人の誰もが同じように感じていると思うのですが、方法手段無策ゆえ何もできないという現実から、事態を静観しているようです。yahoo!の世論調査によると「歴史を調べる」49%「情報を得る」39%の回答が圧倒的です。

- ・イスラム組織ハマスとガザ地区の住民をイコールと認識するのは間違い。（≠）
- ・ハマスによる民間人の人質連行及びイスラエルへの無差別攻撃も、イスラエルによるガザ地区への空爆、封鎖、住民移動の強制も、どちらも明らかな国際法違反である。
- ・日本を除く G7 はイスラエル全面支持、イラン・シリア・カタール・イラクはハマス支持
- ・日本の立場 テロ攻撃を断固として非難、人道支援を最優先  
双方への働きかけを強化し、事態の沈静化に向けて尽力

（日本は国連決議と同じ姿勢を貫くことで、欧米に追従せず、ユダヤとアラブの間の中立的な立場を示す。第三国として仲裁できる立ち位置を評価する見方もある一方で、アラブの反感を買えば石油資源を失うから、どちらにも肩入れできないという見方もある。）

#### 2 コロナ禍以降の変化と沖縄の孤立

長野県内の高校生は入学と同時にほぼ 100%スマートフォンを所持することで、生活スタイルが変化する。「新聞を読まない」「テレビも見ない」高校生が相当数いて、世界情勢すら知らずに毎日を過ご

している学生が急増している。教育機関がその役割を果たす必要性が高まる。ところが高校生活最大の平和学習の機会である修学旅行が大ピンチ。円安物価高騰とコロナ禍が重なり、現状のルール内では9月10月の沖縄修学旅行費用が高騰して、沖縄行きを取りやめる高校がかなりあるようです。当然、校内での沖縄学習が成立せず、今までの蓄積も頓挫してしまう高校も出てきそう。

その沖縄は今、窮地に立たされている。コロナ禍の経済打撃だけではない。

普天間基地の移設先となっている名護市辺野古での軟弱地盤の改良工事をめぐり、工事を承認しない県に対して国が行った「是正の指示」が違法かどうか争われた裁判で、最高裁判所は「国の指示は適法だ」として上告を退ける判決を言い渡し、沖縄県の敗訴が確定した。辺野古への移設に反対してきた県は工事を承認する義務を負うことになる。

玉城知事は「判決が出て、私が、沖縄における過重な基地負担の軽減、普天間基地の1日も早い危険性の除去、辺野古新基地の断念を求めるという意思に、全く変わりはない。引き続き、対話による解決を求め続けてまいりたい」と述べ辺野古移設反対の姿勢を維持する考えを示した。沖縄県民の多数の意見を代弁して。

### 3 戦争体験を若い世代に

コロナ不安が一段落して、日常の学習機会が戻りつつある。県内高校の修学旅行が広島・長崎になりつつある。(沖縄への思いをのこしつつ)探究学習にて平和要素を重ねて行く流れを形成した学びを実現したい。コロナ禍で松代大本営地下壕、満蒙開拓平和祈念館、無言館など県内で平和を学ぶ施設の活用を推進された。本校では修学旅行事前学習の平和講話として長野空襲を経験された講師を招き(自分史を綴り語り継ぐ会)の紙芝居による講話を開き、生徒の感動を誘った。小さな実践だけど、生徒のために実施して良かったと思える機会を増やしたい。

## II 今、憲法を教えることの意義

「原発処理水の海洋放出をめぐって」という記事が県内高校生に配られる「High School Times」に掲載された。安全性を国民や国際社会に理解を求める内容だ。中国の反発が反作用となって国内に「安全神話」が出来つつある。処理水を放出した日本の海水よりも原発廃棄物を流す中国の海水の方が放射性物質の濃度が高いというデータも暴露され(それはそれで問題だが)海洋放出に反対する世論が小さくなっている。全国漁業協同組合連合会は「科学的な安全と社会的な安全は違う。しっかりした安心を得られない限り」反対の姿勢を崩していない。

岸田政権の改憲の動きを危険視して、自民党「改憲草案」を読み返す。日弁連リーフレット「敵基地攻撃能力や反撃能力を日本は持ってよいのでしょうか？」が示す通り9条を蔑ろにしている点は許せない。草案では国民は「国家のために存在する」ことになっていて、「権力を縛る鎖」である憲法が、「国民を縛る鎖」になっている。人権については根本的に理解が間違っている。人間であることによって、すべての人が普遍的に、当然に持っている権利である人権を、不当に国家、政府等の公権力が侵してはならない。

草案の第19条の2「何人も、個人に関する情報を不当に取得し、保有し、又は利用してはならない」に関して、聞こえは良いように読めるが、要するに国会議員など公人に対する報道の自由を制限するこ

とが目的で、「国民の知る権利」を害します。「何人」とは私人であり、国家の情報収集は規制しないため、政権が如何様にでも運用でき、とんでもないことになる条文です。

この自民党改憲草案は、世界の民主主義国家でいうところの「憲法」ではありません。

### III 日本で人権は守られているのか

仮に改憲草案が通されれば、我々の人権の制限、報道規制される世の中になります。マスコミの政権批判勢力をそぎ落とすことが狙いです。

かつて新聞や報道が国民を戦争協力へ誘ったことへの痛切な反省に立ち返り、マスコミは政治の圧力に屈することなく報道を続けてほしいと願う。

マスコミの二面性を認識したい。

安倍政権に批判的な民法の報道番組の選挙報道に当人が示した不快感の公言に、報道は萎縮し、それ以降、政権に付度してきた側面。ジャニーズ問題のように利害関係の中で付度が横行するなど。その結果、赤木さんのような悲しい事件に結びつく。

反面、一部のジャーナリストの追及、海外からの指摘により浮かび上がる問題に関して本来の在り方に戻る側面。「森友学園」「桜を見る会」「統一教会」「入管法」など市民の視点で問題を暴く本来の姿勢。

教科「情報Ⅰ」の教科書では情報リテラシーの学習とともに情報の信憑性について吟味して調べたことを掲載している。よく吟味して真実を見抜く能力を育てたい。

旭川女子中学生いじめ凍死事件を例とする学校現場におけるいじめ、LGBTQ にみられるような国際的な日本の人権意識の低さ、長野県における未成年の自殺者数増加の問題など様々。学校環境が誰でも気持ちよく登校できて学べる環境にすることを目指して、平和な社会を願う教職員がたくさん学べる分科会にしましょう。

(文責) 篠ノ井高校 小宮山勝人

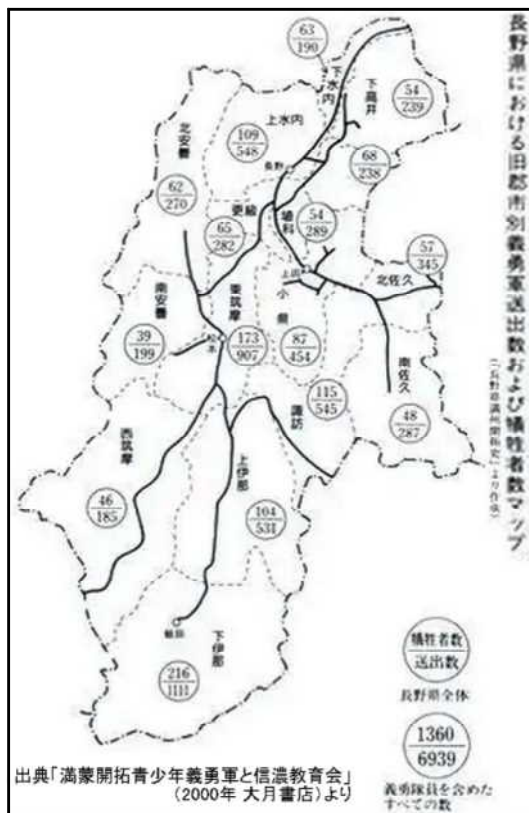
※ 様々なニュースソースをもとにして書きました。

# 地域の満州開拓慰霊碑が6年生に語る戦争と平和

レポーター：NTU長野県教組下伊那支部 坂下 力（前飯田市立千代小学校6年担任）

## 1. [プロローグ] 飯田市千代地区にとって満蒙開拓とは…9人に1人送出

満蒙開拓団とは、1931(昭和6)年の満州事変以降、1945年の太平洋戦争敗戦までの期間に日本政府の国策によって推進された、傀儡国家である満州国に入植した日本人農業移民である。1932年から大陸政策の要として、昭和恐慌下の農村更生策の一つとして遂行され、満州国建国直後から1945年敗戦まで14年間に、約1,000団27万人が日本各地から満洲国などに開拓民として移住。新規開拓地の他、農民の土地を取り上げ同然の安価で日本政府が作った公社が入手し、現地住民の反発を招いた。ソ連の日ソ不可侵条約破棄を想定し、対ソ国境に配置する意味合いもあった。満州に渡ったのは政府関係者や港湾・鉄道労働者、商社関係者も多く、開拓民も含め終戦当時約155万人に達した。長野県からは約33,000人と全国ダントツ1位で、12%を占めた。また、満蒙開拓青少年義勇軍(義勇隊とも)は約7,000人、全国約10万人の7%で1位【表①参照】(P2)。満蒙開拓青少年義勇軍とは、14歳から18歳の青少年で構成し満州に開拓農民を兼ねたソ連国境警備少年兵とし、2・3か月の国内訓練後に送出する制度。県内には、12歳で茨城県内原訓練所(現水戸市)へ送られた記録もある。



飯田・下伊那地方(以下飯伊)は、長野県の中でも各種開拓団民が最多の8,400人(対県25%)と、1,100人(同16% ⑤地図)の青少年義勇隊員を送出した。なぜ飯伊からの渡満者がこんなに多いのか、素朴な疑問である。世界大恐慌の煽りで主幹産業の養蚕業が大ダメージを受けたことに加え、満蒙開拓に積極的な自治体や学校のリーダーが多かったからではないか?と言われる。長野県が率先して県独自、郡市単位や市町村単位で組織した開拓団は【表②】(P3)によると、60を超える。そのうち27が飯伊郡市民が参加した団で、うち13が飯伊で独自編成した団と思われる。

満蒙開拓団の募集形態は、国設の全国合同・長野県合同・郡市合同・近隣市町村合同・市町村単位に分類される。近隣自治体合同は「分郷」と呼ばれ、映画「望郷の鐘～満蒙開拓団の落日」の阿智郷(旧山本村・会地村・伍和村の合同)など、飯伊には3分郷(⑤地図)。村単位の「分村」は、県下で12か村。飯伊では送出順に、泰阜村、旧千代村・旧上久堅村・旧川路村の現飯田市3村、河野村(現豊丘村北部)の5か村。人口の11%に当たる500人余を送出、その半数の240人余が犠牲となった窪丹岡(わあたんがん)千代分村は、その1つ。千代分村は人命を優先し、最寄りの緩佳(すいか)線の香蘭駅から避難と早々に決断。ソ連兵や現地の人から襲撃に遭う「死の逃避行」や集団自決は無かった。しかし、多くの命が旧ソ連占領下のハルビン収容所での飢えや気管支炎・肺炎、結核や発疹チフスの蔓延で奪われた。多くの男性は、渡満で免除だったはずの根こそぎ兵役動員や、ソ連による極寒のシベリアでの国際法違反の強制労働により、帰らぬ人となった。



【表① 全国の満蒙開拓団と満蒙開拓青少年義勇軍の送出人数】（出典：満蒙開拓平和記念館…1984年の集計）

都道府県	開拓団員数(人)	義勇軍隊員数(人)	合計(人)	順位
北海道	2,002	1,127	3,129	38
青森県	6,510	1,855	8,365	14
岩手県	4,443	1,993	6,436	18
秋田県	7,814	1,638	9,452	11
宮城県	10,180	2,239	12,419	6
山形県	13,252	3,925	17,177	2
福島県	9,576	3,097	12,673	4
東京都	9,116	1,995	11,111	9
神奈川県	1,013	575	1,588	46
埼玉県	2,900	1,968	4,868	27
群馬県	6,957	1,818	8,775	13
栃木県	1,429	2,802	4,231	29
茨城県	1,551	2,022	3,573	33
千葉県	1,037	1,111	2,148	45
新潟県	9,361	3,290	12,651	5
長野県	31,264	6,595	37,859	1
山梨県	3,166	1,939	5,105	24
静岡県	6,147	3,059	9,206	12
愛知県	634	1,724	2,358	43
岐阜県	9,494	2,596	12,090	7
福井県	3,057	2,079	5,136	23
富山県	3,775	1,425	5,200	22
石川県	4,463	2,808	7,271	16
三重県	2,753	1,309	4,062	31
滋賀県	93	1,354	1,447	47
京都府	1,418	1,952	3,370	35
大阪府	2,030	2,125	4,155	30
兵庫県	2,170	2,230	4,400	26
奈良県	3,945	1,298	5,243	21
和歌山県	1,272	1,877	3,149	37
岡山県	2,898	2,888	5,786	19
広島県	6,345	4,827	11,172	8
山口県	3,763	2,745	6,508	17
島根県	1,507	1,528	3,035	40
鳥取県	1,339	2,287	3,626	32
香川県	5,506	2,379	7,885	15
徳島県	1,243	2,082	3,325	36
高知県	9,151	1,331	10,482	10
愛媛県	2,200	2,325	4,525	25
福岡県	1,669	1,445	3,114	39
佐賀県	2,800	1,500	4,300	28
大分県	735	1,836	2,571	42
長崎県	747	1,403	2,150	44
熊本県	9,979	2,701	12,680	3
宮崎県	1,769	1,613	3,382	34
鹿児島県	3,432	2,268	5,700	20
沖縄県	2,350	644	2,994	41
合計	220,255	101,627	321,882	



ん) 神社があり、校門の東200mに位置している (㊦地図)。

5月20日の全校行事、棚田百選「よこね田んぼ」田植えの帰り道、担任と6年生4人が立ち止まり、この神社の石鳥居の下で拍手を打った。「この神社は通るけれど、何があるの？」との声で、石段を上って寄り道をしてみた。すると、「満州開拓慰霊碑」(㊦写真左)とその右隣におびたしい数の名前が彫られた銅製プレート(㊦写真右)がはめられている碑と、石碑2基を見つけた。「あのたくさんの名前は、戦争で亡くなった人だろう」と直感しゾクツとしたと、子どもたちは後に語っている。



【表③ 児童とともに学んだ第2次世界大戦時下の世界・日本・千代村年表】(坂下2022年作成)

西暦	昭和	年	世界の出来事 ○…月	日本の出来事 ○…月 太字…満州での出来事	千代村の出来事
1929	4	93	⑩世界大恐慌 ソビエト連邦(ソ連)スターリン独裁	開拓移民を担当する拓務省ができる 生糸の値段が大きく下がり、不景気に	
1930	5	92		八ヶ岳のふもとに長野県の開拓移民訓練所ができる	
1931	6	91		⑨満州事変 鉄道爆破事件を自作して中国軍を攻撃	
1932	7	90	ドイツでヒトラー率いるナチス台頭	②リットン調査団が日中に仲裁提案 ③満州国建国 中国内に勝手に国を作る ⑩満州に試験移民(武装移民)が送り出される	
1933	8	89	アメリカのフーズベルト大統領のニューディール政策	②長野県で230人の自由な教育をした先生が逮捕される ③国際連盟を脱退	
1934	9	88		③土竜山事件で中国の農民三千人が満州移民を襲撃	(土竜山事件のすぐ北に5年後入植)
1935	10	87	イタリアのムッソリーニ・ファシストがエチオピア侵略し併合	⑧中国で日本に対抗する部隊の組織が始まる	
1936	11	86		20年で5百万人の満州移民が国策化	
1937	12	85		⑦盧溝橋事件で日中戦争始まる ⑫南京を占領 死者数不明の大虐殺	
1938	13	84	ドイツがオーストリア併合 (サウンドオブミュージックの背景)	④国家総動員法公布で国民全員戦争状態 ⑩広東を占領	5/7満蒙開拓に村の半分を送ることを話し合い 7月先遣隊として17人が入植
1939	14	83	③ドイツがチェコスロバキア併合 ④イタリアがアルバニア併合 ⑨第2次世界大戦始まる ⑨ドイツがポーランド侵攻 ⑩ソ連がフィンランド侵攻	②武器・兵器用の金属が不足し国民抛出現象始まる ⑤ノモンハン事件で日本軍とソ連軍の衝突 ⑥満蒙開拓青少年義勇隊の満州へ出兵開始 ⑫米・木炭などの配給制が始まる このころ満州の農地が日本農地の1/3以上に	3/1第8次丹岡(わあたながん)千代村開拓団 清水直夫(45)団長107戸461人が入植 千代小学校の分校・千代在満国民学校できる (丹羽義雄校長以下教師7人、指導員2人、児童・生徒60人)
1940	15	82	④ドイツがノルウェーとデンマーク侵攻 ⑤続いてオランダとベルギーにも ⑥ドイツがフランスを降伏させる ⑦ソ連がバルト三国併合 ⑨日本・ドイツ・イタリアが日独伊三国同盟を結ぶ	④満州移民瑞穂村が抗日中国軍から襲撃 ⑨ベトナムへ侵攻 ⑩大政翼賛会発足で独裁政治始まる ⑪国民服が義務化され服の自由がなくなる	千代村より松島薫村長、小島清逸助役、金田正男村議が訪問 さらに85人が入植
1941	16	81	②ドイツが北アフリカ侵攻	④ソ連と日ソ中立条約を結ぶ ⑫ハワイ真珠湾攻撃 太平洋戦争へ	4月今後の入植の打ち切り決定
1942	17	80	⑪ドイツが北アフリカから敗退	①フィリピン占領 ③マレーシアなどで中国人へ無差別攻撃 ⑥ミッドウェー海戦でアメリカに大敗	保健指導員が高山卓良医師(35)から高橋広次(30)に交代
1943	18	79	②ドイツがスターリングラードでソ連に敗れる ⑦イタリアがシシリー島を連合国に明渡し ⑨イタリアが降伏 ⑩連合国がカイロとテヘランで戦後処理会談	①ニューギニアで全滅 ②ガナルカナル島で連合軍に敗れる ⑤アラスカのアッツ島でも全滅 ⑫大学生までもが戦場に出陣	
1944	19	78	⑨連合国がフランス奪還	⑦サイパン島で全滅	
1945	20	77	②ヤルタ会談でソ連の日本への参戦と千島占領決定 ④ドイツのナチス・ヒトラー自殺 ⑤ドイツの無条件降伏 ⑦連合国がポツダム会談で戦後を話し合う	3/10東京大空襲死者10万人(ちいちゃんのかけおくり) 3/21小笠原諸島の硫黄島で全滅 3/26アメリカ軍沖縄上陸で沖縄戦始まる 8/6広島にアメリカによる原子爆弾が投下 8/9午前0時ソ連が満州・朝鮮などに攻撃開始 27万満州開拓民がソ連兵からの逃避行 8/9アメリカ長崎に原爆落とす 8/15敗戦・無条件降伏	7月校長・畜産指導員も含め軍隊召集 8/10清水団長を除く17~45歳男子全員召集 8/11軍司令部より「ソ連軍越境、香蘭駅よりハルビンへ避難せよ」 8/12残留希望もある中、清水団長の人命尊重意見で意思統一 8/13蘭蓮屯の張文徳親子の見送りで午後3時出発 8/14午後2時に香蘭駅到着、両角義勇軍中隊と合流 8/15ソ連軍の妨害により綏化駅に足止め、終戦連絡 8/17全員ハルビン到着、新香坊収容所に収容 8/31清水団長以下3人がソ連兵に拉致される



### 3. 戦争ってどうして起こるの?…政治・憲法学習と歴史学習からの教室での学びから、問題意識を持つ

社会の授業では、政治・日本国憲法の三原則の学習が終わり、歴史が始まっていた頃だった。旧石器時代の約3万年間と縄文時代の約1万年間は、ヒューマニズムにあふれていて階級も差別も戦争もなかったことを学んでいた。弥生時代になって、人間同士の殺し合いがなぜ日本で始まったかも学んだ。2022(令和4)年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵略への関心も高く、新聞スクラップの土日の宿題に、関連する記事を選んでくる頻度も高かった。

ウクライナ侵攻の目を覆いたくなる惨状を毎日のニュースで知る4人は、「ロシアは、なぜこんなひどいことをするの?」「戦争は、なぜ起きるのか?」「77年前に終わった日本と世界の戦争は、どうして起きたのかな?」という疑問を持っていた。戦争について意欲的に学ぼうとしている。そこで、歴史編の教科書と社会科資料集を使って、戦前・戦中史を学び始めた。千代で起こった出来事と対比できる年表【表③】(P4)も作り、補助資料とした。

### 4. 千代にも戦争があったんだ…満蒙開拓千代分村の語り部の存在を知り、改めて満州開拓慰霊碑と向き合う

4人の6年生は、これらの学習から、戦争についてa)~i)のような気づきや共通認識を持つようになった。

- a)戦争って、戦場で兵隊同士が戦うだけじゃないんだ。必ず、女の人や子ども達までもが巻き込まれている。
- b)戦争で逃げる時、お父さんは兵隊になって戦場に行ってしまうている。避難する時、お父さんはいない。
- c)今のウクライナのお母さんと子どもがロシアの攻撃から逃げる姿と、満蒙開拓の人たちがお母さんと子どもと逃げていく姿が重なって見える。
- d)今、避難しているウクライナの人達は、ロシア兵に追われている。77年前の満州で逃げる日本人の満蒙開拓団を攻撃したのも、国の名前は変わったけれど、同じロシアなんだ。
- e)日本は、隣の国の朝鮮半島や中国などを侵略した。ドイツ・イタリアも外国を侵略した。戦争に負けたこの3国以外にも、第2次世界大戦中にまわりの国を侵略した国が1つだけある。それはソ連、今のロシアだ。
- f)今でも日本にはソ連から侵略を受けたままで、今のロシアが返してくれない島がある。それは、千島列島だ。
- g)戦争が終わった1945年~2022年の77年間、戦争で亡くなった日本人も日本人が殺した外国人もいない。
- h)明治が始まった1868年~1945年の77年間、日本は4つの戦争をし大勢の日本人が戦死し外国人も殺してきた。
- i)戦後の77年は、日本国憲法の第9条の平和主義や前文の民主主義によって、平和が守られてきていたんだ。

社会科が専門と自負してきた自分は、今まで余りこんなことに気づかなかった。子ども達の気づきから、担任自身も学んだ。そして4人は、「戦争は過去の話ではなく、現実に今、ウクライナでも起きている。遠い場所で起きたのではなく、ここ私達の千代にも戦争があったんだ。」と考え、戦争に対する当事者意識みたいなものが芽生えたようだ。

地域学習ボランティアの方から、千代からの満蒙開拓団で証言の語り部が健在でいらっしゃるという情報を戴けた。2歳の時に一家で渡満し、小学2年となる1946年に母親と千代村山中地区に帰国を果たした近藤丑男(うしお)さんである。旧姓は沓名(くつな)さんという。満蒙開拓平和記念館や地元千代自治振興センター、千栄小学校でも語り部として満蒙開拓の証言をされている。4人は、「お話を聞く機会があれば、お聴きしてみたい。」と、考えていた。

5月31日に改めて神社の慰霊碑に行ってみた(写真)。「満州開拓慰霊碑~長野県知事 西沢権一郎書」と彫られている。実は故西沢元県知事は、戦中は初代長野県拓務課長で、満蒙開拓旗振り役の県政トップにいた。碑文は難解だが、「第2次世界大戦中に中国東北部の満州に千代からたくさんの移民が渡り、1945年の敗戦の時多くの犠牲者を出してしまった。その方達のご冥福と平和を祈る…」といった内容だと解った。もう1基には、300人程の犠牲者の名前が銅板に刻まれている。



「嶋岡」「川手」「楯」「小澤」など、お馴染みの姓を見つけた。「もしかすると、親戚や友達の先祖様かも。」と、つぶやきながら教室に帰った。「190人以上も犠牲者がいる中で、生きて帰ってきた人の想いを感じた。」「石碑があると言うことは、社会の歴史で勉強した千代の満蒙開拓は、本当のことだったんだ。」「千代に本当に戦争があった

ことが分かった。「何があったのか、どうやって生きて帰れたのか、近藤丑男さんに聞いてみたい。」などと記述。千代の満蒙開拓を知る手掛かりが、近藤さんと神社の満州開拓慰霊碑の2つあるという認識を持てた。

## 5. 阿智村の満蒙開拓平和記念館に行ってみよう…飯田市教育委員会の平和教育推進事業を活用して事前の学び

2013(平成25)年4月にオープンした唯一の満蒙開拓の歴史に特化した阿智村の満蒙開拓平和記念館について、4人に聞いてみた。「先生から話は聞くけれど、行ったことがない。」「みんなで行ってみたい。」と、希望していた。担任が満蒙開拓平和記念館開館当初からピースサポーターに登録していることと、飯田市教育委員会から平和教育推進事業として満蒙開拓平和記念館、または2022(令和4)年5月新設の丘の上結いスクエア内・飯田市平和祈念館(細菌部隊の展示に不備があり選択外)の入館料と交通費を補助して戴けるという情報を得たことで、4月に申し込みをした。

総合的な学習の時間・セッションB ビデオ視聴バージョン

### 「千代の歴史①～満蒙開拓の真実～」

千代小学校 6年( )番 氏名( )

1. 国籍(こくさく)移民の実態

「満蒙開拓団」出身県別

都道府県	人	%
1. 長野	31,264	14.2
2. 山形	13,252	6.0
3. 宮城	10,180	4.6
4. 熊本	9,979	4.5
5. 福島	9,576	4.4
6. 岐阜	9,494	4.3
7. 新潟	9,361	4.3
8. 高知	9,151	4.2
9. 東京	9,116	4.1
10. 秋田	7,814	3.6
合計	220,255	

満洲移民の市町村別比率

「満蒙開拓青少年義勇軍」出身県別

都道府県	人	%
1. 長野	6,595	6.5
2. 広島	4,827	4.8
3. 山形	3,925	3.9
4. 新潟	3,290	3.2
5. 福島	3,097	3.1
6. 静岡	3,059	3.0
7. 岡山	2,888	2.8
8. 石川	2,808	2.8
9. 栃木	2,802	2.8
10. 山口	2,745	2.7
合計	401,627	

「満蒙」開拓の源は満州(中国の東北部)、蒙はモンゴル(中国の内モンゴル地方)

1) 実際の満蒙開拓移民の人数・全国⇒ **27万人**

2) 1945年に満州が戦場になった理由⇒ **ソビエト連邦(ソ連、今のロシア)が条約を破って攻めてきたから**

3) 日本が日清戦争・日露戦争で勝った結果⇒ **朝鮮・台湾を日本の領土にして、さらに中国へ領土を広げようとし**

5月6日に満蒙開拓平和記念館で、担任が伊賀良小学校1年生5学級の学年主任当時学年PTA会長でお世話になった三沢亜紀事務局長と見学の打ち合わせをし、事前学習DVDをお借りした。その足で飯田中央図書館に寄り、三沢事務局長に紹介された文献で教材研究をした。

満蒙開拓平和記念館社会見学の事前学習として、そのDVD「満蒙開拓の真実(小学生バージョン)」を視聴した。実は3年前、前任の上郷小学校6学年主任をした4学級に、同じものを視せている。小学生版ができたばかりだったので、視聴したのは上郷小が初。その6年生にも難解だった。なので、今回は㊦の様なレジュメを用意した。4人は一生懸命に聞き取ろうとして記入するも、㊦の「解答バージョン」を写しながら必死の様相(㊦写真)。「満蒙開拓平和記念館からお借りしたビデオを観て学んだことや、もっと知りたいことは何ですか?」の問いに、次のように答えている(下線は担任による)。



最も心に残った話

4. 阿智の満蒙開拓平和記念館からお借りしたビデオを観て学んだこと・もっと知りたいこと  
 満蒙開拓義勇隊員になった少年たちは、15才から行、てたことを知、てそれ、で、せ、く、な、て、い、る、人、た、ち、も、い、る、と、思、う、か、ら、か、わ、い、そ、う、だ、と、思、っ、た。先生にす、め、ら、れ、た、の、は、そ、の、先、生、の、い、い、な、と、思、っ、た。  
 ・シベリアに行、て、もう、戦、争、が、終、わ、っ、て、い、る、の、に、な、に、を、し、た、の、か、? と、思、っ、た。

4. 阿智の満蒙開拓平和記念館からお借りしたビデオを観て学んだこと・もっと知りたいこと  
 色、人、が、死、に、な、り、な、り、と、な、り、か、ら、中、国、に、残、り、20、年、を、経、た、し、た、の、後、を、考、え、た、し、と、な、り、す、る、。

4. 阿智の満蒙開拓平和記念館からお借りしたビデオを観て学んだこと・もっと知りたいこと  
 満蒙開拓義勇隊員の年、れ、い、は、小、学、を、卒、業、し、た、ら、11、年、れ、い、で、し、ん、じ、の、中、に、死、な、す、。

が、『満蒙開拓青少年義勇軍に行く。』と返事するまで3日間、校長室に立たされた。」との松尾の深谷さんの証言だと言う。

開拓団が逃避行の中でどんな亡くなり方をしたのか? 千代村の2/5の人々が、戦闘も無くなぜ亡くなったのか? 旧ソ連が国際ルール違反のシベリア抑留させた強制労働の中身は何か? 満蒙開拓平和記念館見学で確かめたいという願い、歴史の真実を知ったのでそれを忘れないでいたいという決意も語られている。

## 6. 満州に残されてきた人達がいた事実、日本に帰そうと努力した山本慈昭さんを知る…戦争が起きた理由に迫る

映画製作会社「現代ぶろだくしょん」から購入した「山本慈昭 望郷の鐘 満蒙開拓団の落日 (㊦) 2014年」DVDを鑑賞した。社会の時間だけでは足りなくなるため、道徳と学活の時



間を活用。阿智郷が渡満した経緯を観ながら、つぶやいていた (㊦写真)。学校の先生も勤めていた慈昭和尙が、村長達に「満州に渡ってくれる先生は、山本先生しかおらんのだに。」と、嘆願書を渡されるシーンがあった。4人とも、「絶対に引き受けないだろう。」と予想したが、違っていた。「えーっ何



で?」「だって、あと3か月で日本は負けるんでしょ。」「今、満州なんか行ったら、絶対ヤバイって!」…また、子ども達は「もうすぐ敗戦なのに、どうして千代村よりも奥地でソ連国境に近いところに満蒙開拓に行ったの?」という疑問の答えの糸口の一つを見つける。慈昭さんの「戦争は、騙す者と騙される者が揃わなかったら起きなかった。」の言葉、戦後の阿智村の掲示板「国を信用するな! 騙したのは誰だ!」の貼り紙、他の帰国する開拓団に紛れて奇跡的に帰ってきた小学生「先生、俺達は国に騙されて満州に行かされた。父ちゃんは、国に殺されたんですね。」のセリフ…視聴後、「千代の人達523人も、国に騙されて満州に渡ったのだろうか?」「なぜ国は、国民を騙したのか知りたい。」「今でも、国は私達を騙しているのか?」と、記述している。

次週は、慈昭さんが妻と二人の娘も亡くなったとされる満州に渡り、残留婦人・孤児を帰国させるという大仕事をする生き方を学んだ。「千代分村にも8人の人が生きて満州に残ったらしいけど、きっと阿智郷の人達と同じだったんだ。」「千代の残留した人は、慈昭さんの力で帰ってこれたのかなあ。」と、話し合った。山本慈昭和尙の偉業についても意見が出た。「自分の家族を満州で亡くして自分を責めていたのに、よくがんばった。」「(肉親捜しを訴える慈昭さんを省庁間でたらい回しにする) 政府に対して、怒るように真実を訴える姿がすごい。」「山本慈昭さんの長岳寺にも寄りたい。」「慈昭さんが満州で犠牲になった人を思って撞いた『望郷の鐘』を実際に見てみたい。」と、尊敬に似た感想を持った山本慈昭さんに対する興味も高まっていく。ラストシーンで、女優の常盤貴子さんが小学校の先生を演じ満蒙開拓平和記念館の案内をする映像を観て、「エキストラの小学生の中に、私の従姉妹がいるんだよ。もう、高校を卒業する頃だけだね。」という話もあり、6月15日の社会見学がいっそう待ち遠しくなっていた。

## 7. 担任、語り部・近藤丑男さんと会う…持ち上がる、慰霊碑管理の話

担任が、近藤さんと電話でやりとりする中、「6月9日に、地区の役員に頼まれて、地元の法山センターで話をする事になったんだに。」「授業中ですが、行きます。録音させて戴いてもいいですか?」と、実際にお会いし、証言の録音ができる機会をいただいた。三沢亜紀事務局長にお借りした2021年5月22日に満蒙開拓平和記念館で行われた近藤さんによる講演会の録音は雑音が多くて教材には不向きだったので、子ども達の役に立てる教材となろう。

講演が終って近藤さんとツーショット写真 (㊦) を撮影していたら、参加者の一人で千代小学校にお孫さんが通っているという女性から、「是非、地域を知る授業で、近藤さんの話を千代小の子ども達に聴かせてほしい。」との提案があった。近藤さんも、すでに84歳でいらっしゃる。数人おられた証言ができる方も、千代では現在、近藤さんお一人だけ。今こそが、語り部に直接お話を聴ける最後のチャンスかもしれない。しかし、



証言の内容を理解できるのは歴史学習をしている6年生以上、しかも満蒙開拓に特化した学びをしていないと無理がある。現に数年前、近藤さんの講演会を開いた千栄小学校では、あまりに生々しい証言に聴いていた児童がたまらなくなり、講演を中断せざるを得なかったと言う。これには、近藤さん自身も深く傷ついてしまった…と、三沢事務局長からも話を聞いていた。自分にはそんな葛藤があり、即答はできなかった。子ども達には生証言ではなく、録音を介して誰かが通訳的な役目をしながら聴かせなくては…と考え、ICレコーダーを持ってここへやってきたから。



近藤さんからは、金属クリーナー（㊤写真）を託された。満蒙開拓慰霊碑横の戦没者プレートの銅板を磨くものさそうだ。ただ一人の生き残りとなった近藤さんが、5月1日の追悼記念日に一人で磨いてきたと言う。満蒙開拓平和記念館の三沢事務局長からは、全国・県下各地に慰霊碑などが建立されているが、管理や清掃する後継者、担い手がいなくて困っている。学校の教育活動で存続できないだろうか…という話もあった。千代自治振興センターからも、「小学校が近いので、管理の担い手となってもらえると助かる。」とのお話。千代分村の場合、慰霊碑は学校から徒歩で5分と条件はよい。どうすることが、よいのだろうか？「子ども達に強要せず、児童会役員に提起したい」と、職員会に提案した（㊤）。

児童会 代表・放送委員会・新活動の提案	
活動名	満蒙開拓・窪丹崗（わあたんがん）千代分村犠牲者慰霊碑の清掃活動
提案理由	第二次世界大戦下、全国 39 万人うち長野県は最多の 9 万 8 千人を中国東北部に送り出し、飯田下伊那はさらにその 1/10 を占める県内最多の満蒙開拓団員および青少年義勇隊員送地域である。その犠牲者を慰霊する石碑が、千代にも存在する。窪丹崗（わあたんがん）千代分村（千代・千宗・両村合同）は、県下でも分村は 12 のみ、飯伊地区でも 5 村のみと言われる 1 つ（他は、上久堅・川路・春島・豊丘北小学校区の河野）。現在の、千代分村の語り部は山中の近藤丑男氏を残すだけとなった。石碑は管理者がいれば残るが、千代自治センターによれば管理者がはっきりしなく、誰かがやらないと・・・と、愚案している。千代小学校から徒歩で 5 分の場所にあり、6 月 15 日（水）に 6 年生が見学する満蒙開拓平和記念館からも提案を受けている。
場所	麻篠八幡（ひろはたはちまん）神社境内

## 8. 念願の阿智村・満蒙開拓平和記念館と長岳寺の社会見学…様子は、学年だより「四つ葉のクローバーZ」で

**飯田市立千代小学校 6 学年だより**  
 2022年6月17日(金)  
 発行 担任・坂下カ  
 カラー版

**千代の史実を実感 満蒙開拓平和記念館見学**  
 6月15日（水）午前、飯田市の平和学習推進事業を活用して、阿智村の満蒙開拓平和記念館へ見学に行ってきました。開館10周年に当たります。事前に館からお借りした「満蒙開拓の真実」ビデオと、映画「望郷の鐘～満蒙開拓団の落日～」を観ての訪問です。担任を含め5人が17人乗りのマイクロバスに乗り、出発しました。

### 当時の時代背景と満蒙開拓団の生活を、パネルと実物で知る

到着してまず観たものは「鎮魂碑」。事前学習で興味を持った物です。4人が初めてという記念館の自動ドアを抜けると、スタッフが迎えて下さいます。展示物を巡り、事務局長の三沢亜紀さんから説明を受けました。探検バッグにつけたルーズリーフ表裏一杯に聞き取りメモを書く人、事前学習の学びと同じで覚えているからメモ不要という人。発問に対して次々と正答する4人に、今までに20万超の来館者を相手にして来ておられる三沢さんもびっくり!! 「よく勉強して来ているね」…説明の合間にも質問をします。家、食べ物、防寒具など実物に触って約80年前の開拓民

シベリア抑留者の服「寒そうだ」

6月15日（水）午前8時40分。「行ってきます。」の挨拶をして、担任を含めた5人が17人乗りのバスに乗車。出発した。三沢事務局長自ら説明をしてくださった。施設見学による満蒙開拓の原因と経過の理解→窪丹崗・千代分村の実態→残留孤児・婦人の証言ビデオ→ワークショップ「一人で帰国した少年の心情を考えてみよう」と進んだ。4人が切望していた山本慈昭和尚の長岳寺にも寄った。担任が渡したお賽銭を投げ、「望郷の鐘」に触れてみた。鳴らしてもよい旨の表示があったが、お留守だったので、撞いてみるのは家族と再来した時の楽しみということにした。

の生活や苦勞を、感想を吐きながら五感を使って感じ取っていました。

### なんと！窪丹崗・千代分村の限定プレゼンテーションが…実像を知る

2年前に出来たセミナールームに案内され、映画のスクリーンみたいな大画面で講義を受けました。三沢さんは何と、千代村開拓団バージョンのプレゼンを用意。なぜ千代から1割に当たる500人以上も次世代へ繋ぐ願いを群唱 が満州に渡ったのか、どんな生活をしたのか、レンガ造りの校舎、小学校の運動会、卒業式…ソ連侵攻の1945年8月、満州鉄道に乗って逃げ、ハルピン収容所に収監され200人が落命。千代で起きた真実を学びます。スクリーンで千代開拓団の実像を聴く

### ワークショップで孤独な帰国少年の想いを…そしてたくさんの質問

ワークショップでは、10歳で兄妹だけで帰国した少年が親戚に引き取られ、学校で一人ジャガイモの弁当を机の下で食べる心情に、自分の心を重ね合わせてみました。4人4色の回答で、根拠を持って発表できました。最後の質疑応答では、収容所生活や抑留者など6つの質問に対し、丁寧に答えて載きました。

### 山本慈昭おしょうの長岳寺に歩いて行く

是非行きたかった、山本慈昭さんの長岳寺へ。館から急坂を歩きました。お賽銭をあげ、4人であの「望郷の鐘」を撞く真似を。残留孤児となり中国から会いに来た娘、冬子を迎える際、慈昭さんがこけたあの石段を、4人は彼の想いを胸に、ゆっくり降りバスに乗りました。映画で観た「望郷の鐘」の下で

**満蒙開拓平和記念館** のみなさんへ

2022年6月15日の水曜日に、飯田市平和学習事業で学ばせていただきました。僕は、色んな人が、満蒙開拓として満洲に渡って行ったこと、ソ連兵や開拓団民にうらみを持つ現地の人達に身内を殺された悲しみや苦しみを忘れずに、満洲で起きたような悲劇を絶対に忘れないようにしたいです。

施設の展示を見学しました。僕は、ノルペンの収容所での出来事を描いた絵が心に残りました。顔色が青い人々の表情が、とくに心に残りました。収容所での生活がどれだけ苦しかったのか、それを物語っていました。シベリアに連れて行かれた人が着ていた服も、さわってみました。この支給された服じゃ、とても寒そうだなと思いました。「寒さで指を失った。」と聞いたときは、驚きました。

千代分村の歴史について、千代分村のスライドを使って学びました。コウリヤンという、硬い、鳥の餌みたいな食べ物を満蒙開拓団員が食べさせられたと聞いて、とても驚きました。生き残った男の人達が、シベリアに連れて行かれ、ソ連のドイトツとの戦争での復旧作業をさせられていたという話を聞き、どれだけ過酷なのかを想像しました。

ワークショップでは、10歳で帰国した少年の気持ちを考えてみました。野中さんは、無事帰ってこられたけれど、満洲に渡って行った人は、帰ってきてからも苦しい毎日を送ったと言うことでした。自分に置き換えて考えてみて、生きて帰って来ても、「野中さんは、大変だっただろうな。」と、考えました。これからはもう満洲みたいなことは起こすことのないようにしてほしいです。

その後、歩いて山本慈昭おしょうさんの長岳寺に行ってきました。鐘に、「望郷の鐘」の文字が刻まれていました。「想い出は、かくも悲しきものか...」という詩がほられていました。長岳寺には、また、行ってみたいです。鐘は、家族で来たときに、ついてみたいです。

この平和学習を通じて、感じたことがありました。僕は、これから満蒙開拓に行った色んな人の苦しみや悲しみを忘れないようにし、他の人にも伝えていきたいです。また、家族を誘って満蒙開拓平和学習記念館へ行きたいです。

「山河に学ぶ」  
飯田市立千代小学校6年

**満蒙開拓平和記念館** のみなさんへ

2022年6月15日の水曜日に、飯田市平和学習事業で学ばせていただきました。満蒙開拓平和記念館を見学させていただきありがとうございました。私は、初めて満蒙開拓平和記念館に行きました。満洲に行った人たちの悲しみなど、苦しみの大変さが分かりました。

施設の展示を見学しました。シベリアに連れて行かれた人たちが着ていた服装や、無事に帰ってこられた人が描いた絵が、特に印象に残りました。シベリアはとても寒いところなのに、防寒のはずの服はうさぎの毛でできていました。靴はとても寒いところで履くような靴ではなくて、これで生き延びた人がいると考えると、「あんなに寒い中でよく頑張ったね。」と、思っていました。無事に帰ってこられた三石さんが描いた収容所での絵は、私は本当には収容所での姿は見えていないけど、その絵を見たときに本当に収容所にいる感じがしました。その時は、鳥肌が立ってしまい、なみだが止まりませんでした。

千代分村の歴史について、スライドを使って学びました。千代村は1939年から、503人（人口の10.5%）の人が満洲に行ったことが分かりました。私は、千代村からは503人もの人たちが満洲に行かされたことを知った時、少し悲しい気持ちになりました。

佐藤玲子さんの、お母さんが収容所で亡くなったと語っていた動画も観ました。私は、「もしも自分の家族の誰かが自分の目の前で亡くなったら...。」と、考えてみました。「私だったら、家族の誰かが目の前で亡くなったらそれが悲しくて、一生泣いている。」と思いました。玲子さんのお母さんがトラックに乗せられて、当時の人はゴミのように裸で捨てられたことを聞きました。私は、悲しい気持ちでいっぱいになりました。

ワークショップでは、10歳で帰国した少年の気持ちを考えてみました。最初にお姉さんとお父さんが行方不明になり、その次に赤ちゃんとお母さんが収容所で亡くなって、残りの妹2人は残留孤児として、無事に日本に帰ってこれたのは、12歳のお姉さんと10歳の弟の草さんの話を聞きました。もともとは、8人いた家族が満洲に行って帰ってこれたのは2人だけで、お姉さんも草さんも別々に暮らしてしまっただけで、「なんてかわいそうな家族なんだろう。」と、思っていました。草さんの気持ちになって日本に帰ってきたら「泣いた」「泣いてない」とか、「学校で久しぶりにじゃがいもを食べると何味がしたか?」など、たくさんのお話を「自分は草さんだ」と思いながら考えました。心の中が悲しくなってきた、泣いてしまいました。

その後、歩いて山本慈昭おしょうさんの長岳寺に行ってきました。私は初めて長岳寺に行ったので、すごく興奮しました。長岳寺の鐘を見た時、映画「望郷の鐘」でも見て思っていたよりも大きくてびっくりしました。その時、「山本慈昭さんも戦争がある前は、毎日鐘をついていたのかな?」と、思いました。今度、阿智村に来た時、長岳寺に寄って家族で鐘をついてみたいです。

この平和学習を通じて、感じたことがありました。戦争では、たくさんのお母さんやお父さんが苦しんで悲しかったことがよく分かったのが良かったです。私は、戦争のことをあまり知らない友達や家族に満蒙開拓平和学習記念館で学んだことを伝えたいと思います。今度は、家族みんなで満蒙開拓平和記念館に行きたいと思っています。

「山河に学ぶ」  
飯田市立千代小学校6年

**満蒙開拓平和記念館** のみなさんへ

2022年6月15日の水曜日に、飯田市平和学習事業で学ばせていただきました。私は、満蒙開拓平和記念館に行ったことがなかったので、とても楽しみでした。外には鎮魂碑や平成天皇御幸記念碑などがあつたのでとてもすごい場所だと思いました。思ったよりも大きくてびっくりしました。

最初、施設の展示を見学しました。時代ごとに全部細かく書いてあったり、絵画があつたり、本物の服や家があつたりして迫力を感じました。実際の映像もあり、その時の写真やポスター、漫画があつて、当時の様子がよく伝わってきました。横書きで書くときは右から読むのには、びっくりしました。中には、山本慈昭さんの写真もあつたり、資料やグラフや地図があつてわかりやすかったです。

千代分村の歴史について、スライドを使って学びました。千代分村の10分の1の500人も送ったという事実には、とてもびっくりしました。どンドン動めていった人が（誘った人）が責められるのは、少し違うと思いました。国が騙してその動けた人が騙されてしまったから、その動けた人は悪くないと思いました。

玲子さんのお話を聞いて、悲しかったです。人の死体をゴミのように扱うのもひどいと思ったけど、衣服を奪ってそのまま捨てるどころにおいておくのも、ひどいと思いました。精神がおかしくなっても親が死んでも泣けないというお話は、ちょっと共感できなかったけれど、せめて花一本添えてあげられなかったことが悲しいという気持ちはなんとなくわかるような気がしました。

ワークショップでは、10歳で帰国した少年の気持ちを考えてみました。同じ日本人なのに、学校でいじめられるのは可哀想だと思いました。「満洲人」と言われたら、日本で育って、一時期満洲へ行っただけなのに、「満洲人だ」といじめられるのは可哀想だと思いました。

その後、歩いて山本慈昭おしょうさんの長岳寺に行ってきました。玄関の扉は、映画「望郷の鐘」で見たものとは変わっていたけど、あとはそのまんまでした。慈昭さんが、叩いていたり拭いたりしてた鐘も、慈昭さんが駆け落ちちゃった階段も全部そのままです。望郷の鐘をつく真似をしたり、石段を降りていくときは、少しだけ慈昭さんになった気分になりました。今度鐘を叩いてみたいです。

この平和学習を通じて、感じたことがありました。やっぱり満蒙開拓平和学習記念館に見学に来る前から思ってたことと同じで、この戦争が一番悪いのは騙した国だと思いました。ちゃんと情報が確かか調べない国民の方も悪いかもしれないけど、やっぱり騙そうとしたり騙したりする国が一番悪いと思いました。これからは、私も情報をうのみにしないで自分で確かかなものかを確認してから扱うようにしたいと思いました。

案内してくださった二沢重紀事務局長さん、ありがとうございました。満蒙開拓平和学習記念館に来て、もっと詳しく満洲のことや、満蒙開拓団、青少年義勇軍のことについて知ることができました。また家族で行きたいなと思いました。今戦争をしているロシアとウクライナについては、ロシアが侵略してウクライナを取ろうとしている、以前の日本と同じ事をしていきます。なので、やめてほしいです。自分の土地や、家を捨てて他の国へ行くウクライナ人がとても可哀想だと思います。

「山河に学ぶ」  
飯田市立千代小学校6年

**満蒙開拓平和記念館** のみなさんへ

2022年6月15日の水曜日に、飯田市平和学習事業で学ばせていただきました。77年前の戦争は、家族や夫婦を引き裂いてしまつて、中国に残された人は残留孤児や残留婦人となり、中国人になつて中国で暮らす人生を生んでしまつたことが分かりました。平和記念館に入る前、記念館前の鎮魂碑を見てお祈りをしながら、心の中でふるさとを歌いました。満洲という日本が作った国は、13年間しか存在していなかった幻の国だと分かりました。

施設の展示を見学しました。満洲開拓団は、長野県がダン突1位で満蒙開拓青少年義勇軍も長野県がダン突1位だという事実を知って、とてもおどろきました。佐久の三石忠勇さんが満洲から生き残って日本に帰って来た時に、満洲で体験をした収容所生活を描いてくださった絵を、私は見ました。収容所生活はすごく辛いもので、栄養失調になる人や伝染病の発疹チフスが開拓団員を襲い、多くの人が亡くなってしまったことが分かりました。

千代分村の歴史について、スライドを使って学びました。千代村の人は、503人も満洲に送り出したことが分かりました。

ワークショップでは、10歳で帰国した少年の気持ちを考えてみました。ソ連兵が攻めてきたときに、お父さんとお姉さんが行方不明になってしまったことが分かりました。その後、赤ちゃんとお母さんが収容所で亡くなって、草さんの妹2人は中国の残留孤児として12歳のお姉さんと10歳の草さん2人が、無事に日本に帰ってこれたと聞きました。草さんと姉さんは、別々に引き取られました。草さんは、通った学校の弁当にじゃがいもを茹でたものを持って行ったそうです。「机の下で隠れて食べていた、じゃがいもの味は何?」と聞かれた時、私は、「思い出の味。」と、答えました。理由は、映画「望郷の鐘」の中では収容所で家族と一緒にじゃがいもを食べたので、その味だと思ったからです。草さんの家族は、すぐかわいそうだと思いました。9人の家族が、最後は9人もバラバラになってしまったからです。

その後、歩いて山本慈昭おしょうさんの長岳寺に行ってきました。長岳寺に戻った山本慈昭さんが、一生懸命に残留孤児や残留婦人を探していた映画「望郷の鐘」のあのシーンと重なりました。映画「望郷の鐘」に出てきた鐘をバックに、記念写真を撮りました。いつか家族と長岳寺に行つて、鐘を鳴らしたいと思います。

この平和学習を通じて、感じたことがありました。戦争は残酷で家族や兄妹を引き裂いてしまうことが分かりました。戦争があることで多くの犠牲者がでてしまうことが分かりました。この先、世界中の戦争というものがなくなつてほしいです。ウクライナでの戦争も、早くなくなつてほしいです。

いつか家族と一緒に、阿智の満蒙開拓平和学習記念館に行きたいです。

「山河に学ぶ」  
飯田市立千代小学校6年

9. その後の学び…満蒙開拓青少年義勇軍を知るアニメ映画視聴と近藤丑男さんの千代分村証言の聴き取りから

4人は、満蒙開拓青少年義勇軍についても知りたいとのことで、アニメ長編映画「蒼い記憶～満蒙開拓と少年たち～」(㊦)1993年 満蒙開拓・映画製作委員会)を視聴した。主人公が14歳という同世代で舞台も長野県である。千代開拓団がソ連侵攻から逃れる際に南信構成の両角中隊に助けってもらったという事実を知っているのので、この記録映画も食い入るように観た。

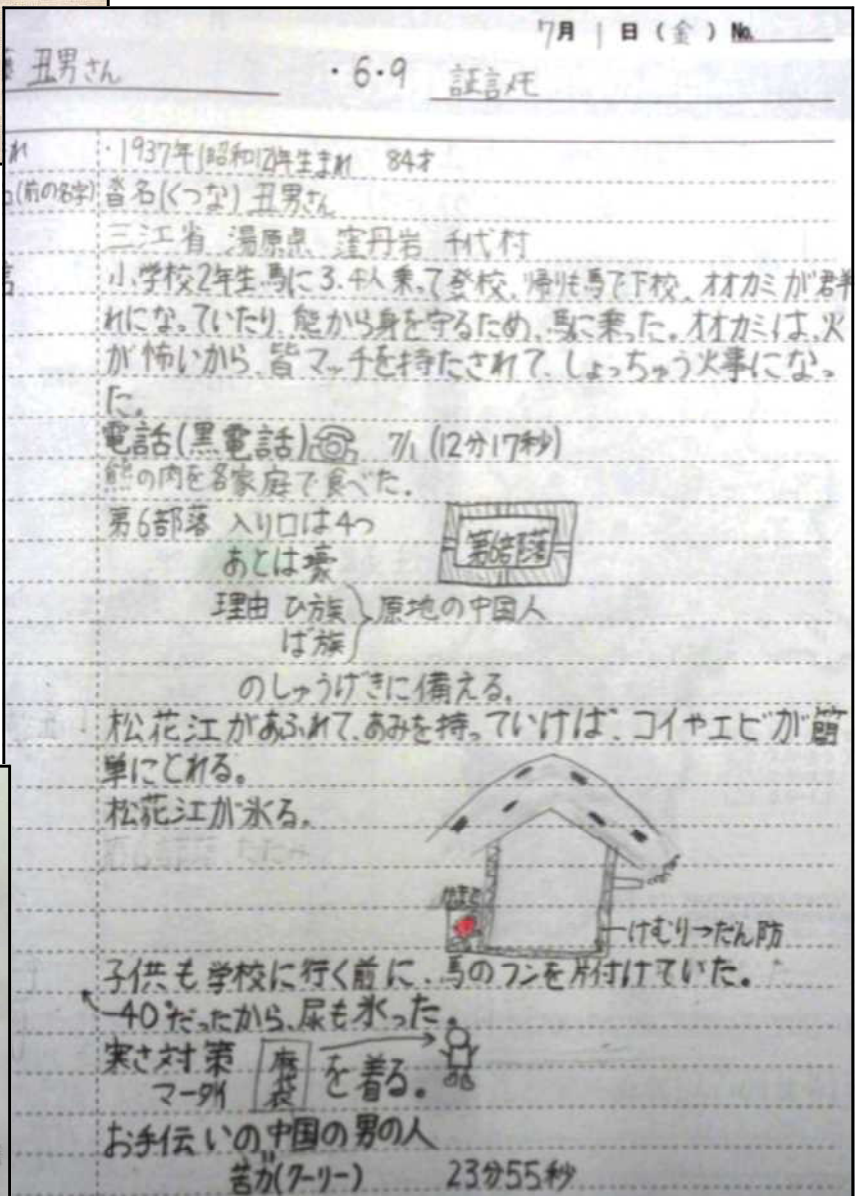


満蒙開拓平和記念館への社会見学翌週の月曜日、6月20日の午後、廣籬八幡神社の「満蒙開拓千代分村慰霊碑」2基の掃除と「死没者碑」の銅板プレート磨きに行ってきた。4人で分担してはたきと箒で、クモの巣や落ち葉を取り除いた。使い捨て手袋を両手にはめ、近藤丑男さんから預かった金属磨き液を新品の雑巾に付けて、丁寧に磨き込んだ。行く途中で摘んだ野の花も、花立てに供えた。「随分、字が見やすくなったね。」と、効果を実感していた。

担任が録音した近藤さんの証言も、聴き始めた。㊦の地図で証言に出てくる地名を一つ一つ確認して、入植地や避難経路の位置関係も調べてみた。証言の内容で聞き取れなかった

言葉、例えばクーリー(苦力)の解説…開拓団民の家に下働きとして雇われた、開拓前の元々の土地の所有者である中国の男性…というように、丁寧に聴き取ってルーズリーフにメモ(㊧)をした。また、故人となられた元開拓団の証言を学校図書館の郷土誌「千代風土記」で見つけ、手記や記憶を元に描かれた地図(㊨)を読み解いて、近藤さんの記憶と照合する作業もしてみた。不一致点は、近藤さんに担任が確かめたりした。

子ども達が丁寧に書き取ったルーズリーフは、今後の貴重な証言記録となろう。



## 10. 2学期から今後の展望…レリーフ拓本採りと戦没者の照合、慰霊碑の維持…できる活動を探る

雨と、標高が高い千代でも熱中症警戒レベルが高いことにより、なかなか実践できなかつた慰霊碑隣の戦没者プレートの拓本とり。写真撮影を試みたが、P4の写真のように映像としては不鮮明になる。拓本を採るには意味がある。日本各地に満蒙開拓犠牲者を記した碑はあるのだが、文献の名簿と照合した事例は殆どない。長野県の満蒙開拓団員・青少年義勇隊員の戦没者名簿は「長野県満州開拓史～名簿編」(㊦)にあり、拓本があれば照合できる。この活動がうまくいけば、地域史の掘り起こしとしては画期的だろう。



雨が上がった夏休み直前の7月20日(水)。絶妙なタイミングだった。翌21日から新型コロナウイルス感染防止措置で学年閉鎖となり、2日間リモート授業を行うことになってしまった。3週間待っていた満蒙開拓千代分村の犠牲者プレート拓本採りに、廣籬八幡神社の満蒙開拓慰霊碑によく行ってみたい。書道半紙を縦に切ると丁度一人



分の名前の幅になる。切った紙をプレートに貼り付けて、茶色のクレパスで擦り出す(㊦写真)。ところが、鮮明な拓本にならない。「図工のデッサン用の6B鉛筆だったら、いいかもね。」…と、他の方法でやってみることに。2学期の課題である。

近藤丑男さんや三沢事務局長などからの懸案としても考えなくてはならないのが、満蒙開拓慰霊碑の清掃活動である。生まれ育った千代の満蒙開拓の歴史の真実を知ってしまった者として、卒業の日までにはどうするか結論を出してほしい。

## 11. 2学期の満州開拓慰霊碑を知る活動から調べる活動へ…亡くなった先人たちの生き様に思いを馳せて

8月26日と9月8日の2回に渡って、廣籬八幡神社「満州開拓慰霊碑」死没者プレートの拓本が採れた。9月28日に、Googleスプレッドシート(Excelに類似)を使って、お一人お一人のお名前のPC入力を始めた。このアプリの利点は、ログ

入力担当	精岡雅美	行 (1~7)	2
No	氏名	ふりがな	
右から1	北沢	きたざわ	
2	北沢	きたざわ	
3	西尾	にしお	
4	西尾	にしお	
5	西尾	にしお	
6	西尾	にしお	
7	大平	おおだい	
8	大平	おおだい	
9	大平	おおだい	
10	藤本	ふじもと	
11	藤本	ふじもと	
12	金田	かねだ	
13	金田	かねだ	
14	笹木	ささき	
15	笹木	ささき	
16	笹木	ささき	
17	笹木	ささき	
18	小笠原	おがさわ	
19	小笠原	おがさわ	
20	小笠原	おがさわ	
21	小笠原	おがさわ	
22	小笠原	おがさわ	
23	山口	やまぐち	
24	山口	やまぐち	
25			
26			

お一人お一人の魂を感じて入力

インしている全員が同じ画面を見て同時に入力でき、さらにその作業を同時に共有でき、上書きする必要も無く作業が終わればそのまま保存されること。反面、誰かの入力ミスもそのまま保存されてしまい、それに気づくことが困難になる。



スプレッドシートへ入念に入力

改良した6B鉛筆での拓本は、鮮明に読めた。「先生、この字なんて字?」「ゑはなんて読むの?」など、間違いの無いように注意して打ち込む。普段タイピングソフトをやっているため、入力はスムーズ。30分間、沈黙して作業した。終わってから、「あー、疲れたあ」。それもそのはず。赤ちゃんからお年寄りまで、満州のハルピンで77年前に亡くなった方々の魂を刻むのである。ものすごい精神力が必要だった。とてつもない使命感みたいな雰囲気を醸し出す4人の姿は、大変立派に思えた。

## 12. 満州開拓慰霊碑の芳名碑データベースづくり…地域の方の提案が担任と子どもたちのやりたい方向と一致

このデータベースづくりは、千代に残るたった一人の元開拓団員である近藤丑男さんが近年一人でやってきた慰霊碑掃除を6年生でやってみようとしたとき草刈りの必要があり、7月17日(日)ビーパーを持って行った。草刈りが終わって一休みしていたところ、近所の男性に声を掛けられた。事情を説明したところ、「できれば、慰霊碑に彫られた名前をデータベースにしてみたらどうですか。記録が残るし、子どもたちのICTの学習にもなるし。」と提案された。翌日6年生に話したら、やる気満々だった。子どもたちが採ってきた拓本は7段、333人分だった。4人で分担してGoogleスプレッドシートに入力作業は週2時間ずつ、8月から10月末まで続いた。その間に、運動会やコロナ

禍で延期した東京への修学旅行といった大きな行事もあった。

卒業文集編集作業も開始した11月からは、慰霊碑の芳名碑の名前を入力したものと、県や市などが整理した満蒙開拓団名簿との照合作業を始めた。まず、担任が満蒙開拓平和記念館の三沢事務局長に教えていただいた「長野県満州開拓史～名簿編～」の千代分村や旧千代村の部分を飯田市立中央図書館でコピーしてもらってきた。長野県の渡満農民は3万3千人から、500人余の千代の人達を探すのも大変だった。6年生は、名簿編で個人を探し出し、表に生年月日・生死の別・最終確認地・死因などを入力していった。「プレートの字と名簿の字が違うよ。」「プレートは亡くなった人のはずなのに、『帰還』とか『引揚げ』とある。どういうことなの？」など、疑問や壁にぶち当たりながら地道に入力作業を続けた。

12月10・11日と担任が満蒙開拓平和記念館に赴き、子どもたちの実践報告と、残り73人の調査方法の相談に行ってきた。三沢重紀事務局長は、開口一番「全国的にも希少な取り組みですね。地域に残る碑文と県がまとめた名簿を照合することは、大事なこと。子どもたちは、よく頑張りましたね。」と、褒めてくださった。そして、千曲市の長野県立歴史館がまとめた県関係団員3万3千人のExcelデータベースのコピーをいただいた。担任が早速、残り73人のお一人お一人検索をした結果、大八浪泰阜村など他開拓団に記載されていた方が4人見つかった。260人は、正確に特定できていたことには、驚く。教室で長い時間を掛けてきた作業が、精密なものだったことが分かった。

### 13. 満州開拓慰霊碑の存在とデータベースを伝える活動へ…まずは、研究の成果として全校に伝えよう

12月23日は2学期終業式。4人でGoogleスライドを活用し、全校に向けてプレゼンテーションをした。社会科で歴史を学んでいない5年生以下にとって満蒙開拓史はちんぷんかんぷんだということは、6年生はよく分かっていて、

▶ロシアがウクライナへのこうげきを始めた年に～

まんもうかいたく わあたんがん ちよぶんせん しら

## 満蒙開拓・窪丹岡千代分村を調べて

～わたしたちの千代にも、せんそうがあった  
そのとき、ロシア人は千代の人たちもこうげきしていた～

千代小学校6年 新井叶利奈 嶋岡雅美 牧田希 松村哩伯

### 満州…戦争をしていた90年前、日本が中国に作った国



▶77年前に終わった戦争で日本は、韓国・北朝鮮・台湾をせんりょうしていました。中国にも日本がおさめる国をつくり「満州（まんしゅう）」と名づけました155万人もの日本人が、満州にわたりました。

### たくさんの農家の人たちも、満州へわたった

▶農家の人たちも満州へわたりました

日本全体で、27万人  
長野県で、3万3000人(日本一)  
飯田下伊那で、8400人(長野県一)  
千代・千栄で、500人以上  
千代の人9人に1人



### ▶13才～18才の男子も少年兵として満州にわたった

満州へわたり、農作業をする長野県の少年兵 →



←いばらき県でくねれんを受ける少年兵

### ▶満州ではよく作物がとれた。でも冬はとても寒かった



冬はマイナス30度。ひなたでも、毛皮のコートを着ています

写真は、同資料の満蒙開拓平和記念館より

### 1945年8月9日ナガサキ原爆の日の朝、ソ連のこうげき

▶ロシアは、ソビエト連邦(ソ連)という国でした。日本とは戦争をしない約束をしていました。でも、いつやぶるかかわからないので、日本は満州のソ連との国ざいかに農家の人々を送りこんだのです。

1945年(昭和20年)8月9日の朝、それが現実となりました。ソ連兵が、国のさかいをこえて、せめて来たのでした。





## ソ連兵と満州の中国の人たちから逃げ...亡くなる人も

▶ソ連兵と、日本人から土地を取り上げられてうらんでいる中国の人たちのこぼれから歩いてにげ、日本へ帰ろうとしました。



▶千代の開拓団は、こううんなことに、近くの駅から鉄道で逃げるのができました。でも、ソ連兵に2回もぼろがいたされたのです。↓

おそれたり、川に流されたり、自殺したり...生き残っても、収容所ぐらして食べ物がなく、うえじにしたり、でんせん病でなくなった人が、何万人もいたのです。

↑映画「望郷の鐘 満蒙開拓団の落日」より阿智村の開拓団の人たちが、歩いてにげているようす



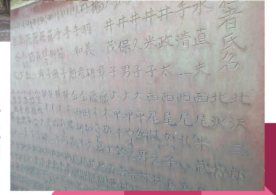
## 千代へぶじに帰って

▶千代の人で無事に帰って来た人は、半分の300人。多くは、満州のハルビン収容所(しゅうようじょ)で、うえと病気でとうとい命をなくしたのです。



いれいひの右の「しぼつ者プレート」には、満州のハルビンなどでなくなった333人のお名前がぎざまれています↓

▶帰って来た人たちは1976年(昭和51年)、千代小学校のうら山にある「ひろはた八まん神社」に、亡くなった人たちをいたむ「満州開拓いれいひ」を、たてました。



## 満蒙開拓での千代の悲しい歴史を語りつぐ人



▶坂下先生のとりにいるかたは、山中の近藤丑男(こんどうしうお)さんといいます。85才です。2才で満州へ一家で行き、にげる途中で家族をなくしてしまいます。小学校2年生の時、お母さんと千代に帰ってきました。ぶじに帰ってきた人たちも次々と亡くなり、今は近藤さんただ一人になってしまいました。近藤さんの開拓団での体験談も、私たちはらく音で記録してあります。

↑今年2022年6月8日。善意の川せいそうで使った法山センターで開かれた、近藤丑男さんによるこうえん会の後で。

## 満蒙開拓のできごとを伝える、世界でたった一つの建物 阿智村の満蒙開拓平和記念館へ



▶わたしたちは6月15日に飯田市の平和学習サポートを利用して、阿智村の「満蒙開拓平和記念館」で学んできました。

## 満州で亡くなった千代の人たちがいたことを忘れない

	J	K	L	M	N	O	P			
10 山本 豊彦	まつやま とよひこ	第8次隊内南千代分村	男	本人	明治30.1.18	39	千代村	傳達	21	
11 西尾 善太郎	にしお きたろう	第8次隊内南千代分村	男	妻	明治40.3.26	38	千代村	傳達	21	
12 西尾 徳雄	にしお とくお	第8次隊内南千代分村	女	妻	明治40.3.26	38	千代村	傳達	21	
13 西尾 千代江	にしお ちよえ	第8次隊内南千代分村	女	妻	明治40.3.26	38	千代村	傳達	21	
14 西尾 統一	にしお こういち	第8次隊内南千代分村	男	長男		6	千代村	死亡	20	
15 西尾 早苗	にしお さなほ	第8次隊内南千代分村	女	三女		4	千代村	死亡	20	
16 西尾 勝人	にしお かつと	第8次隊内南千代分村	男	二男		2	千代村	死亡	20	
17 西尾 清志	にしお きよし	第8次隊内南千代分村	男	父		64	千代村	死亡	20	
18 小木 豊 徳一	おぎそ ときよ	第8次隊内南千代分村	男	本人	明治29.7.25	49	滝江村	傳達	21	
19 小木 豊 ますみ	おぎそ ますみ	第8次隊内南千代分村	女	妻	明治36.8.20	42	滝江村	15.10.11	傳達	21
20 小木 豊 信子	おぎそ のぶこ	第8次隊内南千代分村	女	長女	大正10.8.23	23	滝江村		死亡	21
21 小木 豊 武子	おぎそ たけこ	第8次隊内南千代分村	女	四女	昭和3.7.1	17	滝江村		死亡	21
22 井沢 みつ	いざわ みつ	長野県長野市南郷町	女	本人		18	千代村		傳達	21
23 神山 みよ子(美子)	さかやま みよこ	第8次隊内南千代分村	女	妻	明治37.8.3	41	千代村		死亡	21
24 神山 恒幸(行)	さかやま つねゆき	第8次隊内南千代分村	男	長男	昭和2.3.15	18	千代村		死亡	22
25 神山 好子	さかやま よしこ	第8次隊内南千代分村	女	三女	昭和19.2.25	1	千代村		死亡	22
26 神山 源(廣)	さかやま げん(ひろ)	第8次隊内南千代分村	男	本人	明治37.11.5	40	千代村	13.6.1	傳達	21
27 神山 フサエ	さかやま ふさえ	第8次隊内南千代分村	女	長女	昭和9.4.12	11	千代村		傳達	21
28 川手 壱市	かわて いちいち	第8次隊内南千代分村	男	本人	明治24.9.29	53	千代村		傳達	21
29 川手 みつよ	かわて みつよ	第8次隊内南千代分村	女	四女	大正15.5.1	19	千代村		死亡	21
30 川手 昌彦	かわて 昌彦	第8次隊内南千代分村	男	五男	昭和4.9.24	18	千代村		傳達	21

▶6年生は満州で亡くなった千代の方々の記録を、この学校に残していきます。

## そして、戦争を知らない私たちが引きつぐ



▶今まで近藤丑男さん一人でやってきた「いれいひ」のおそうじを、6年生だけでなく代表・放送委員会でもやることになりました。

▶1年生から5年生のみなさんに、私たちが調べたことを、ひきついでもらえたら、うれしいです。



以上で、「千代にも戦争があった」の発表を終わります。



## 12月23日の終業式で満州開拓碑のプレゼン

なるべく地図や写真と平易な言い回しで下級生に少しでも関心を持ってほしいと願って、スライド作成と発表をした。子どもたちの願いは、保護者や地域の方々、できれば他校や他地域の人々にも知ってほしいと願っている。しかし、子どもたちや担任ではそれは無理である。新聞やテレビなどのメディアの助けが要ることだ。

## 14. 満蒙開拓平和記念館への相談ともう一人の千代開拓団体験者の力を借りて...3学期の集大成への下準備

冬休み2日目の12月25日(日)。阿智村の満蒙開拓平和記念館では大掃除。寺沢秀文館長にお会いして、2学期までの千代小学校6年生の満州開拓千代分村の学びについて報告。館長には、「この満州開拓慰霊碑に関する取り組みなどは本当に素晴らしいことであり、嬉しい取り組みです。この間の取り組みなどを広く知ってもらえるように努めたいものと思います。千代小学校での取り組み等の詳細について、もう少し詳しく知りたいと思います。」とも。

そこで、年明けの1月3日に、担任がこれまでの取り組みのレポートを寺沢館長に送った。次の返事を頂戴した。

**とても良くまとめておられて大変驚きました。先生や千代小の子ども達のこういった取り組みがあることは、本当に素晴らしいことです。大切な地域の歴史的遺産でもある満蒙開拓慰霊碑の維持・管理、その活用等を地域の中で考え、取り組んでいる取り組みとして正しく先進的な取り組みと思います。是非、こういった取り組みのあることを、メディア等にもお伝えしたいと考えます。その際には、どうか宜しくお願い申し上げます。**

窪丹岡千代分村開拓体験者で、1946年に小学校6年生時に旧千代村に帰国した増田信義さんに連絡をとった。偶然、担任の義母の知り合いとのこと。12月29日、ご自身も体調が思わしくなく奥様の介護の合間を縫うように、担任宅に来てお話を伺った。客間に、6年生が採った犠牲者333名の銅板プレートの拓本、それを記録したデータベースをA3サイズ7枚に印刷したの、1976年に引揚げ30周年として満州開拓慰霊碑とともに満蒙開拓の体験談をまとめた「平和への願い」…増田さんが編集長を務めている…今までの学習の経過をまとめた資料を用意した。89歳になられる増田さんは、資料をご覧になり開口一番、「これは素晴らしい。あの慰霊碑の名前をこんな風に資料にまとめてくれて、とてもありがたいです。私ができることがあったら、何でも協力しましょう。」と、おっしゃった。増田さんは、母校でもある千代小学校に来校して、6年生に会ってくださるともおっしゃった。

## 15. 飯田市歴史研究所に満州開拓慰霊碑データベースを報告…地元の自治振興センター・公民館に紹介されて

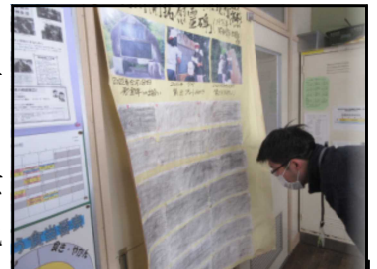
2022年12月27日、飯田市千代満州開拓慰霊碑の芳名碑333人中の9割をデータベース化した資料を持って、飯田市千代自治振興センター・公民館に行った。子どもたちがこの取り組みを始めた半年前、「満州開拓慰霊碑については小学校が近いので、管理の担い手となってもらえると助かる。」と、お話をいただいていたので、間もなく完成するデータベースの保存を持ちかけたのである。ところが、30分かけて説明と説得した結果、断られてしまった。担当者が変わってしまうので、責任を持って保管できないという理由だ。後に、満州開拓慰霊碑保存会の一人でもある増田信義さんも、「千代の自治振興センターは、慰霊碑の維持・管理に積極的ではなくなった。1976年の建立時は一緒にやっていたのに、いつからこうなってしまったのだろうか。」と、嘆いておられた。自治振興センターからの回答は、飯田市歴史研究所に保存を依頼したらどうだろうか…であった。早速、飯田市にある飯田市歴史研究所の事務所を訪ねた。飯田市歴史研究所の方々は、興味を持ってくださった。

年明けの1月12日(木)、千代満州開拓慰霊碑建立委員会編「平和への願い」(増田信義氏が編集委員長)巻末の名簿を元にしたデータベース



**入力作業を観ていただく**

入力の様子を、授業参観に来て下さった。担任から、慰霊碑と「平和への願い」との関連と今日の作業の趣旨説明を受け、早速作業開始。所員の方は、6年生の入力が速いことに驚かれていた。所員のみなさんが今まで証言を聴いた千代分村の方のご



**拓本の出来を見る所員**

戚の名前を入力した中に見つかったり、亡くなったときの情報を戴いたりして、深まった入力作業になった。長野県の満蒙開拓について本を書かれている専門研究員の本島さんから、千代分村の避難の判断が適切だったことが紹介された。「みなさんが満州で亡くなった地域の人ひとりひとりをきちんとデータベース化して記録するとは、とても価値があることで、素晴らしい取り組みです」と、評価していただいた。それを聞いた6年生は、嬉しそう。来週中には、この作業を終わせば、333名のうち330名近くが判明できるという見通しを持た。



**専門家の方の貴重な話**

1月18日(水)には、信濃毎日新聞飯田支局の記者が、大きなカメラとメモ帳を持って、この作業を取材しに6年教室に来た。記者は「タイピングに慣れていますね。」「開拓団の名前を記憶していて、びっくりです。」と、感心しきり。入力作業中と帰りの会後にインタビューを受けた。取材後「インタビューに我先にと答え、反応が素晴らし



い。「拓本を一度失敗し、自分達で新しい方法を考えるなんてすごい事。」「引揚げ者の意思を汲み、それを受け継ぎ、後輩につなげようとする試みに心を打つ。」と、記者は語っていた。  
**←新聞記者から取材を受ける**た。

## 16. 寺沢秀文・満蒙開拓平和記念館館長の警鐘を受け止めて…新たな役割を前向きに自覚し、次の活動へ

スキー教室翌日で積雪4cmの1月27日(金)、1か月間準備をしてきた満蒙開拓平和記念館の寺沢秀文館長による出前授業が遂に実現。信毎・中日・読売・南信州4紙、NHK・SBC・TSB・飯田ケーブルの4局に寺沢館長が、投げ込みをして下さっていた。6年生は多くの取材陣に囲まれても、平然と授業を進めていた。記者会見にも臨んだ。

冒頭、「飯田市千代廣籬八幡神社境内・満州開拓慰霊碑に刻印された犠牲者333人のデータベース」を、寺沢館長に手渡し。8月に拓本採り(7月一度失敗)…9~11月「長野県満州開拓史・名簿編」と照らし合わせ・データ入力(260人)…12月「県立歴史館編・長野県開拓団民3万3千人データベース」で(4人)…「千代村誌」より(34人)…近藤丑男さんと増田信義さんの証言より(6人)照合。そして1月には慰霊碑建立を機に生還者達の手記等を増田さん達がまとめた「平和への願い」巻末の名簿と照合・入力(29人)し、333人中331人までのデータが揃った。毎週平均2時間活動し、8月から5か月懸かって作り上げたことになる。その間、2回慰霊碑の掃除と芳名碑の銅板磨きをしている。データベース作りのきっかけは、担任が掃除前の草刈りに神社を訪れた際、近所の男性と会話していると「せっかくだからデータベース化してみたら。子ども達のパソコンの練習にもなるし」と提案されたこと。修学旅行直後の10月25日には、代表・放送委員会3~6年生で、児童会の時間にも掃除した。1月31日も、委員会活動で2回目の管理活動。

寺沢館長さんから「全国的にも大変貴重な取り組み。忘れてはならない戦争の悲劇を伝える慰霊碑を守る先駆けとなります」と、とても喜び評価された。県内の56基はじめ、全国の満州開拓碑を研究している中で、戦後78年たった今、どこでも慰霊碑の維持・管理が困難な状況で重大な局面であると、説明された。また、千代から満州へ渡った人数は少なくとも508人。うち243人は現地で落命、特に12歳以下の生存率は3分の1という事実。県内で56基の慰霊碑の所在と伊那谷18か所の碑分布についても、資料を戴いてお話をお聴きした。

出前授業を受け「自分達に取り組んできた清掃活動やデータ作りが重要な事だと解った。」「寺沢さんの話を聴いて、改めて悲惨な歴史が分かりびっくりした。」「竜東中学では同じような歴史がある地区から集まる。その同級生にも、伝えていきたい。」と、感想を発表し合った。

## 17. 新聞4紙、テレビ4局が取材。報道により県内に活動を発信…みんなに満州開拓碑の存在を伝えたいが実現

各報道機関のインタビューに対応した2人(2人欠席)は、落ち着いて語っていた。授業の様子は、各テレビ局が27日6時15分からのローカルニュースで放映。翌28日朝刊では、信毎が地方欄で、中日が紙面の大半を割いて紹介。南信州は29日に、1面トップで大々的に報じた。読売は、後日特集を組みたいと連絡があった。記者からは連絡がなかったが、Yahoo!検索してみると2月2日に特集を載せたようだ。信毎とNHKは、31日の代表・放送委員会の



**NHKで放映された記者会見の様子**

慰霊碑清掃活動の取材後、改めて特集にする意向。NHKが再来室した2月6日の総合的な学習では、兵役免除を約束されたはずの満州で約束破りの現地召集をされ、フィリピン戦に動員された挙げ句レイテ島で亡くなったKさんの存在が新たに分かった。7日は信毎が、社会・歴史「満州事変」の授業の取材とインタビューをしていった。

2月8日の小学校最後の参観日。保護者へ発表会をして、家庭でも話題にし関心を持ってもらうことになった。参

観授業後の保護者や先生方からの感想である。「こんな発表をするとは聞いていなかったで、素晴らしい発表に、正直驚きました。」「満州に大勢の人が渡ったことは知っていましたが、今、詳しく分かりました。戦場で亡くなったのではなく、終戦後に多くの方が満州で病気や栄養失調で亡くなったと知って、ショックを受けました。もう一度、阿智の平和記念館へ行ってみたいと思いました。」「自分達が直接、千代の歴史を調べた事で、この先も忘れないと思います。私は、感動を受けました。」「学習中での苦勞、何を学んだのか、今後この学びをどう伝えたいかが、よく伝わりました。資料も豊富で、分かりやすかったです。」…と、的確な評価をいただいた。中学への出発を前に、的を射たコメントは大いに



紙面を大きく使った中日新聞(1/28付)



励みになったようだ。

16日(木)。NHKは特集番組を組んだ。「イブニング信州」である。今回は、データベースと「千代村誌・戦没者名簿」との照合の試みと、児童会活動へ管理活動の継承をテーマに、番組を制作。3人のコメントがとてもキラキラ輝いていた。放送後、飯田市内の方、神戸大学の元教授、県内の教職員やOBなど、多くの方からご連絡や問い合わせをいただいた。反響の大きさに、子どもたちはびっくり。願っていた「多くの人たちに、満州開拓慰霊碑の存在とデータベース化のことを知ってもらい、満蒙開拓の悲惨な歴史に関心を持ってもらう。」が、実現できたこと。「ぼくたちができなかったことを、放送局や新聞社の方々が協力してくれた。」という喜びを得た。これも、千代小の宝として残る。

### 18. データベースが飯田市と満蒙開拓記念館の歴史資料に…飯田市地域史研究集会への招待と一般公開へ

卒業まで登校日数残り15日となり、お別れムードが増す2月22日(水)午後。飯田市歴史研究所の羽田さん、本島さん、斉藤さん3人の満蒙開拓専門学芸員をお呼びして、データベースの贈呈と研究発表会を行った。1月12日に続いて、2度目の来校をいただいた。冒頭の贈与では「飯田市の正式な資料として

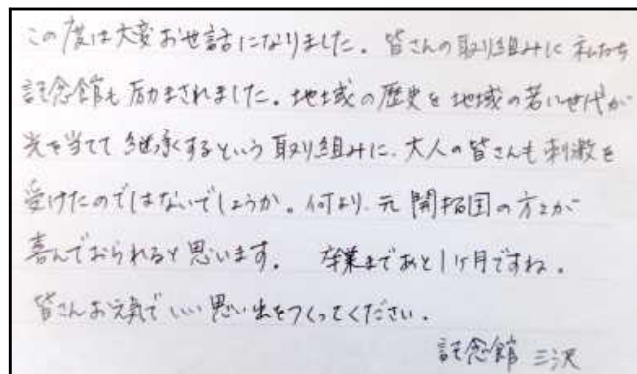


飯田ケーブルTVが取材



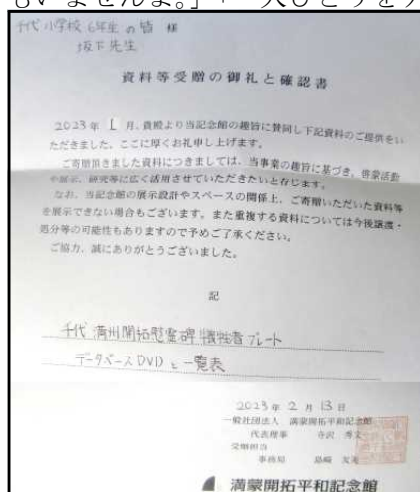
右手前より、羽田さん、本島さん、斉藤さん

認定したい。契約書を取り交わしたい。」との話だった。次は、発表会。「満州で何が起きたのか?」、「満州を学んで私達は何をしたか?」、「データベースに取り組んで分かったこと」と、プレゼンテーションをリレーをした。発表毎に専門家の3人のご意見をうかがったのだが、指摘されたのはたった一つの漢字変換ミス。「これは、すばらしい。プレゼンテーションのレベルが高い。」「ここまで研究をした人は、大人でもいませんよ。」「一人ひとりをデータベース化したからこそ、こんな素晴らしい発表ができると思いました。」と、30年以上研究されている方々から絶賛をいただいた。「今年9月に開かれる学会



三沢満蒙開拓平和記念館事務局長から手紙

に、ぜひ招待したい。」との言葉に、光栄に思いながらも中学生になってからのことなので、微妙な反応をした3人だった。取材した飯田ケーブルTVなどの報道によると、飯田市歴史研究所ではデータベースを飯田市の資料して一



満蒙開拓平和記念館認定書

般公開するとのことだった。9月に飯田市役所で開催が予定されている飯田市地域史研究集会への参加要請については、中学生になってからのことであり辞退することにした。

同日、満蒙開拓平和記念館より、6年生作成の千代満州開拓慰霊碑データベースが「記念館の正式な資料として認定」され、「受贈の御礼と確認書」が学校長宛てに届いた。6月15日の見学でお世話になった三沢事務局長からの、励ましのメッセージまで同封されていた（前ページ）。

23日、取材に来ていただいていたNHK飯田支局の記者さんから、16日放送のイブニング信州の番組で満州開拓慰霊碑の取り組みだけがweb上で観られなくなった原因について回答があった。編集する段階で、満州の白黒映像が不適切だったとのことだった。お願いしたところ、<https://www.nhk.or.jp/nagano/eve/doga/report.html>で、観ることができるようになった。ありがたいことだ。

## 19. 満蒙開拓平和記念館の寺沢館長の2度目の出前授業…満蒙開拓の悲惨な歴史を伝え平和を願う新たな決意



2月24日（金）、ウクライナにロシアが軍事侵攻を開始してから丸1年。ウクライナ危機は、千代小学校6年生を戦争を身近に感じさせることになった出来事であった。1月26日に続き、満蒙開拓平和記念館の寺沢秀文館長による出前授業Ⅱが実現した。子どもたちにとっては、前回は2名分の入力ミスの修正と、2人しかいなかったこと。寺沢館長としては、前回は発表したかったプレゼン資料を忘れてきてしまったこと。お互いにとって、リベンジの意味があった。今回は、報道陣なしの静かな授業…一応、担任は各メディアに事前の情報提供はしてあったが。

冒頭、前回不在だったAさんが代表して、データベースの修正バージョン贈呈式をした。3人が満州での出来事、私達の取り組み、分析結果のプレゼンテーションをした。寺沢館長が3人の疑問に答えつつ、新たな情報を教えて下さった。疑問点がスッキリし、メモを一所懸命にとっていた6年生はとても満足していた。寺沢秀文館長からのメッセージである。子どもたちは、「私たちが5月からやってきたことは恥ずかしくないことだし、地域にとって大切なことだとわかった。」「あの満蒙開拓平和記念館の寺沢館長さんが褒めてくれて、がんばってやってきてよかったと思った。」「もう少しで中学生になるけれど、このことは千代小で引き継いでほしいし、僕たちも中学に行っても千代の人達の悲しい戦争の歴史を忘れずにいたい。他の小学校から来る人にも伝えたいと思う。」「平和について頑張っている寺沢館長さんの

願いが伝わってきた。私たちのこれからも、平和であってほしい。」と、言っていた。一年間の活動の意義を再認識でき、満蒙開拓の悲惨な事実を伝え、平和な世の中を持続する新たな決意を持てたようだ。

「皆さんが本当にしっかりと調べていることにとても驚き、感心致しました。この学習内容はどこに出しても恥ずかしくない立派なもので、ぜひまた大人の人達も含めて地域の皆さんにも伝えてくれたら嬉しいものと思います。私も、そして満蒙開拓平和記念館も、皆さんのこの学習に負けないように、これからも頑張っていきたいと改めて思いました。どうか、中学校に進学してからも、今回の学習のことを忘れずに、多くの皆さんに語り継いでいって頂きたいと思います。大切なことは「継続」、続けることです。皆さんが知った事実を次の人達に伝えていくこと、それが大切であると思います。これからも元気で、健康で頑張ってください。」



まさに満蒙開拓の歴史の掘り起こしと後世への伝承に一生を捧げている寺沢秀文・満蒙開拓平和記念館長のこの言葉は、6年生の心にずっしりと響いていた。これからの彼らの生き方にも、影響を与えていくのだろう。

## 20. 卒業式直前まで続く全国に拡散する報道と広報活動…宮崎県や埼玉県などから問い合わせ相次ぐ

3月16日（木）の卒業式2日前の14日早朝5時18分から23分、NHK全国ニュース「おはよう日本」で、6年生の満州開拓慰霊碑保存活動の取り組みが放映された。2月16日のNHK「イブニング信州」の時より短めに編集されていた。「NHK+」で、見逃し配信もされた。これを観たという宮崎県の男性から、「妻が新京（現在の中国長春市）の満州国会議事堂建設に携わりました。満蒙開拓とは違う立場で満州に行きましたが、子どもたちが満州についてこれだけ学習していることに感動しました。」という電話が、学校に届いた。埼玉県の男性が、満州に関する資料を送って下さった。担任のお仲間さんからは、「普段は筆無精な私が、千代小学校6年生の活躍に感動してペンを執りました。（中略）何かと戦争へのきな臭い情勢になってきて、私も何かしなくてはと悶々としていましたが、子どもたちの生き生きと活動している姿に勇気をもらいました。（後略）」と、葉書をいただいた。高校の同級生がSNSで拡散してくれた。満州で生まれたという恩師からは、「自分が全面に出ずに子どもたちの脇役に徹する姿は、高校時代の坂下君を彷彿させ実に君らしい。」とコメントがSNSを通じ、「近々会って、活動の様子を聞きたい。」と葉書でもメッセージをいただいた。全国に散らばる同級生からも、「坂下君みたいな教育実践は、したくてもなかなかできないのが実際。でも、子どもたちの気づきを大事にし、無理のない教育活動のように見える。」「地域の戦争の遺産の発掘と、現代のICT教育とを結びつけた、画期的な取り組みだろう。」など、SNS掲示板に書き込まれていた。全国からの問い



合わせは、子どもたちが中学に進学し担任の自分が去った後も、千代小に電話や郵

### 千代開拓団慰霊碑から広がる近現代史の学び

便物が入ってくるという。

開館10周年を迎える満蒙開拓平和記念館、自分は開館当初から同館のピースサポーター登録をしている。三沢亜紀事務局長がピースサポーター向け機関紙「山河」に、次の紹介をしてくださった。教室に掲示された紙面を読んだ6年生は、6月の満蒙開拓平和記念館見学を昔のことみたいに懐かしんだ。

これらの活動の様子を見に、國學院大学准教授の多和田さんが、放課後の教室を訪れた。多和田さんは、地域の歴史と教育との接点をご専門だそうである。千代小学校の取り組みを、レポートにまとめることを勧められた。

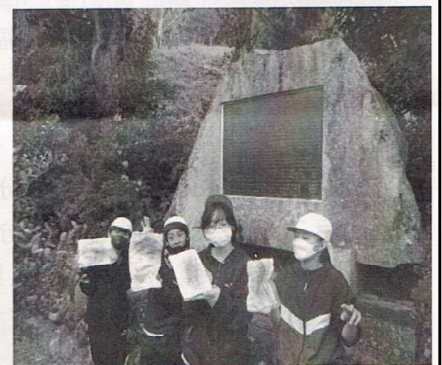
取田市千代地区は全国棚田百選に認定されている「よこね田んぼ」があり、夏には清流にかじかガエルが美しい声を響かせる山間地です。昨年5月、全校行事で田植えをした帰り道、学校のすぐ近くの神社の鳥居の脇に「満蒙開拓慰霊碑」があり、碑の右隣におびただしい数の名前が彫られた銅製プレートがはめられている碑を見つけました。「これは何？」このことをきっかけに、子どもたちの満蒙開拓の学びが始まります。

かつての千代村は村を挙げて分村開拓団を編成したこともあり、人口比で約1割、500人もの人が農業移民として満州へ渡りましたが、約半数が亡くなったり残留されたりしています。このような歴史があったことを初めて知った子どもたち。改めて慰霊碑に向き合います。名前は満州で亡くなった人々のもの。そこには「嶋岡」「川手」「小澤」など身近によくある姓が並んでいました。「親戚や友だちの先祖様かも。」

その後、授業で満蒙開拓の歴史背景を学んだり、記念館にも来て学習してくれたり、映画『望郷の鐘』を見て話し合うなど学習を重ねます。そして、慰霊碑の建立に関わった元千代開拓団の人とつながり、みんなで慰霊碑のお掃除にも行きました。2学期からは慰霊碑に刻まれた名前を拓本にとり、名簿との照合とパソコンへの入力作業に取り組みました。名簿には帰還になっているけど亡くなっていて碑に刻まれている。千代村出身ではない人の名前は開拓団の学校の先生だった、などなど。一人ひとりの「命」に向き合う日々。「戦争って、戦場で兵隊同士が戦うだけじゃないんだ。必ず、女の人や子ども達までも巻き込まれている。」自分たちの地域にも戦争があったことを知り、教科書に載っている歴史に繋がっていきます。

各地の開拓団慰霊碑を調査している寺沢館長も千代小学校に出向き、授業をさせていただきました。「慰霊碑をお年を召された元開拓団の方が細々と管理し守っていく時代は終わった。維持・継承活動の新しい形があるのではないか？」そんな思いを皆さんと共有し、ナント！千代小学校では来年度以降、慰霊碑の清掃作業を児童会の取り組みとして引き継がれることになりました。

今回の取り組みに元開拓団の方々がどれほど喜ばれたことでしょうか。満蒙開拓を“私たちの身近な戦争の歴史”と捉え直し、慰霊碑も地域をあげて維持管理していくような動きになればと思います。



慰霊碑の清掃をする児童のみなさん

千代小学校6年生の担任の先生はピースサポーターのお一人です。この記事は、先生がまとめてくださった子どもたちの取り組みの報告を参考に書かせていただきました。

## 2.1. 3学期に残された2つの課題の「活動をみんなに知ってもらいたい」が達成…自分達の足跡の評価を認識

発信と継承という3学期の2つの課題の一つ、「広く世の中に満蒙開拓の悲しい歴史の事実とそれを後世に伝え平和を願う慰霊碑の存在を知ってほしい。」を、卒業式の日まで忘れず追求してきた6年生。今起こっているロシアによるウクライナ侵攻は、78年前に千代の人たちが満州で体験した戦争と根は同じなのだという認識を持ち、ずーっと平和であり続けてほしいという心からの願いを、12歳の彼らなりに表現し情報発信してきた。3月16日(木)の卒業式で、卒業生保護者代表による謝辞での「地域の満蒙開拓の史実と満州開拓慰霊碑を学び、碑に刻まれた戦没者の名前をデータベース化した千代小学校の6年生は、今、日本で一番有名な卒業生になった。」という言葉が、担任も含め千代小教職員の心に残っている。

## 2.2. 卒業まで2か月、満州開拓慰霊碑の清掃・管理活動を引継ぎしたい…児童総会に向けて準備を始める6年生



10月児童会碑清掃活動

正副児童会長は、冬休み前から後期児童総会に満州開拓慰霊碑の清掃活動を児童会の役割に位置づけることを提案するのがよいと考え準備を始めた。彼らが所属する代表・放送委員会では、修学旅行直後の10月25日に一度現地に行き、2基の碑の掃除と芳名碑の銅板プレート磨きの作業を経験している。慰霊碑がある廣籬八幡神社まで片道5分。45分あれば往復して、碑の周りの落ち葉掃きとクモの巣取り、金属クリーナーを雑巾につけて芳名碑の銅板プレート磨きがてきえることは、6年生は体験して知っていた。児童会長は修学旅行直後に出席停止だったので、この清掃活動には参加できなかった。だから、3学期にももう1回、代表・放送委員会を引き連れて現地へ行きたがっていた。3学期は児童会長選挙、総括児童総会、児童会引継ぎとたった4人の6年生はとても忙しい。その中でも、2月14日の児童総会に向けて、パソコンに議案書を入力して着々と準備を進めていた。一方で児童会長は、6年生が最後に運営することになる1月31日午後の代表・放送

委員会で満州開拓慰霊碑清掃活動を取り入れるため、最後から2番目の1月10日の児童委員会で一年間の活動総括と(6)の議案書作成を済ませ委員会メンバーの承認を取り付けた。

1月31日(火)午後、6年生は最後の児童委員会。代表・放送委員は各教室のハウキとハタキ、6年生は担任が新調した金属クリーナーと百均で買った雑巾を持って、児童昇降口に集合した。NHK記者も同行し、200m東の廣籬八幡神社へ3～6年の委員8人と顧問2人で向かった。

10月	生活見直そうキャンペーン まんもうかいたくいれいひの そうじ	全校の問題を少しはかいぜんできたと思うので良かった。 千代のれきしをのこすものが、きれいにできてよかった。
11月		
12月		
1月	仲良し週間 書きそんじハガキ集め まんもうかいたくいれい ひのそうじ	仲良し集会で遊びで、全校が楽しめる遊びを考えられてよかった。 計51枚と予想以上に集まりました。 みんなしっかり取り組んでいたおかげで近藤さん(千代地区のかいたく団で行った、ゆいいつの生き残っているき重な方。)にもほめていただけてよかった。
2月		

### 来年度に向けて

- ①来年は、もっとしっかりよびかいたりすると、ルールをまもらない人がへると思うので、もっときびしくよびかいてほしい。  
②まんもうかいたくいれいひのそうじは、年に2回い上やってもらえると嬉しいです。

代表・放送委員会議案書の中に満州開拓慰霊碑の掃除を具体的に盛り込んでいる

神社の入り口の石鳥居に手を合わせた一行を出迎えたのは、信濃毎日新聞の藤記者であった。そして、何と信毎の藤記者は、千代・千栄地区で唯一生存されている旧千代村窪丹崗（わあたんがん）満蒙開拓団員だった近藤丑男さん（御歳85歳）を現場に呼んでくださっていたのだ。近藤さんは近年一人で管理してきた千代の満州開拓慰霊碑の清掃活動を目を細め、「なんとも、ありがたいこと。」と呟きながら、ご夫婦で見守ってくださっていた、二人の記者さんのインタビューにも応じ、子どもたちと一緒に献花をしていただいた。記者さんの熱意にも、6年生の担任としてまた児童会の顧問として感謝せずにはいられなかった。その時の様子を、5年生への引継ぎプレゼンテーションの形で児童会長が残している。ちなみに、児童会長のM君は、発表の機会がある度、近藤丑男さんご夫妻について必ず紹介している。それだけ特別な方だと彼らはとらえていた。

⑩引き継いでほしいもの

今年度は代表放送委員会で10月25日と1月31日の2回、清掃活動に行きました。私達はこれらの活動を、下級生に引き継いでもらいたいです。これからは、保健美化委員会や、図書リサイクル委員会にも、掃除してもらえると嬉しいです。



⑪これからのこと

この活動は、これから私達は中学生になっても、同級生などに、教えたり広めていきたいです。千代にも戦争があったという歴史を、これからも忘れないようにしていきたいです。



NHKは後日の特集番組で、信濃毎日新聞は翌日の朝刊と社会面の特集記事(㊦)で紹介された。担任が用意した新聞記事と録画したテレビニュースをみた子どもたちは、近藤丑男さんのコメント「もう、ありがたいばかり。」の短い言葉に、残りの登校日数30のうちに下級生へのバトンタッチの重要は喫緊だと感じていた。

子どもたちに、読売新聞も2月2日に記事にしていることを伝えた。

~~~~~  
~「家族や友人に伝えたい」

満蒙開拓の歴史について学ぶ出前授業が1月27日、長野県飯田市立千代小学校で行われた。講師は、自身の両親が開拓団員として満州(現中国東北部)へ渡った満蒙開拓平和記念館(阿智村)の寺沢秀文館長(69)。6年生のM君(11)、Mさん(12)の2人が授業に臨んだ。

出前授業のきっかけは、6年生が昨年5月、同校近くの廣籬(ひろはた)八幡神社境内に、「満州開拓慰霊碑」と「犠牲者氏名」として計300人以上の氏名が刻まれた碑(いずれも1976年建立)を見つけたこと。

児童らが清掃して拓本を取り、関連資料と照合するなどした結果、旧千代村出身者を中心とする開拓団員331人の名前を確認。家族構成、生年月日、死亡時期、死因、死亡場所なども可能な限り調べてデータベース化した。

この日の授業では寺沢館長が、旧千代村の開拓団員は半数近くが病気や栄養失調などで死亡し、特に12歳以下の生還



率は35%と低かったこと、県内には開拓団の慰霊碑が56基あるが、関係者の高齢化で慰霊碑を守る活動が困難になっている現状などを説明した。寺沢館長は「小学生が開拓団の歴史を調べたのは素晴らしい。この遺産を引き継いで人の痛みがわかる人間になってほしい」と励ました。

授業終了後、「僕たちが学んだことは大切なことだと分かった。『忘れないようにしましょう』とみんなに言いたい」「悲惨な歴史があったことにびっくりした。家族や中学進学後の友人にも伝えたい」と話していた。……東京読売新聞2月2日長野版より


### 2.3. 2月14日の児童総会で、満州開拓慰霊碑の清掃活動継承も含めて承認…5年生の新役員に知ってもらう活動も

2月14日（火）午後の第2回児童総会は、本年度児童会活動の総括と次年度への引継ぎ事項と役員紹介が議事である。新型コロナウイルス感染も落ち着きを見せていたので視聴覚室に2～6年生26人が参加、3年ぶりに参集する総会となった。6年生にとっては初めて、パソコンと大型電子黒板を使ったリモート会議ではなくそれらの機器を発表

**⑨満州開拓慰霊碑の維持管理の引継ぎ**

2月14日の第2回児童総会で、満州開拓碑の清掃活動を引継ぐことも合わせて、僕たちの児童会提案が承認されました。

僕たちが卒業した後も、この活動を下級生によって、続けてもらえそうなことが分かり、安心です。



の補助具として使う児童会企画であった。児童会長はかねて用意していた配布用とプレゼンテーション提示用の議案書を説明し、満州開拓慰霊碑の清掃活動が児童会活動として正式に、児童会員総意として承認されたことを喜んでいた。⑩は彼が、5年生への引き継ぎ用にまとめた資料である。この活動が

自分達の代で終わることなく、自分達が卒業しても後輩たちが引き継ぐことに決まったことに安心感を持っていることがよく解る。4年生からの「満蒙開拓について、もっと教えてほしい。」の意見も重要視していた。

児童総会後の翌週には、児童会の実務引継ぎを行った。その翌週の2月28日（火）は、6年生が会場後方で見守る中3つの委員会が5年生の手でスタートさせ準備児童委員会が開かれた。その同日、窪丹岡満蒙開拓千代分村経験者で飯田市内在住者2人のうちのもう一人、増田信義さんが来校して下さった。増田さんは、千代分村の第1次



データを増田信義さんに手渡す

隊で満州に渡り、1946年9月に小学校6年生で千代に戻ってきた千代小学校の大先輩である。1976年10月11日に建立した満州開拓慰霊碑の39人の建立委員の一人であり、千代の満蒙開拓の証言・写真・名簿集「平和への願い（1977年刊）」の編集責任者でもある。地元の竜丘郵便局長を退職された後の現在は、担任の自宅からほど近い駄科地区に住まれ、担任の義母とは旧知だという。90歳になられるのに、ご自分で運転して77年ぶりに母校の門をくぐられた。6年生が5セット用意したデータベースを焼き付けたCDとそれをカラー印刷したものを、増田さんに手渡した。増田さんは大変感激され、「満州で無念にも落命した千代の人達が、みなさんのおかげで喜んでくれます。千代小の子ども達が慰霊碑を守ってくれること、千代にとってどれだけありがたいことか。心から感謝します」と、建立委員会名で5万円の維持管理費の贈呈を受けた。6年生の5月からの活動報告とデータベースのデータ分析結果を報告した後、一問一答形式で増田さんから体験談をお伺いした。ハルビンの収容所での過酷な毎日、引揚げ後の苦労、慰霊碑建立秘話など次々質問へのお答えをお聴きしながら、子どもたちは興味深い話にのめり込んでいった。千代の歴史の、次世代の語り部になろうとする子ども達の姿を、担任は感じた。増田さんもそう感じ、喜んでおられたと思う。

**278%**は「長野県満州開拓史・名簿編」に

| 項目                         | 件数  | %    |
|----------------------------|-----|------|
| 「長野県満州開拓史・名簿編」「千代分村誌」両方に記載 | 169 | 50.8 |
| 「長野県満州開拓史」のみ記載             | 90  | 27.0 |
| 「千代分村誌」のみ記載                | 33  | 9.9  |
| 「県立歴史館作データベース」で検索          | 4   | 1.2  |
| 「平和への願い」のみ記載               | 29  | 8.7  |
| 近藤丑男氏・増田信義氏証言              | 6   | 1.8  |
| 計                          | 331 |      |
| 全                          | 333 |      |
| 青字...「名簿編」に「残留」            | 3   |      |
| 「平和への願い」に二重記載?             | 1   |      |

「長野県満州開拓史・名簿編」で照合できた人は260人。78%でした。逆に「長野県満州開拓史・名簿編」に載っているのに、慰霊碑には名前がない人も多数いました。その後、満州開拓慰霊碑建立委員会が作った「平和への願い」(増田信義さんが編集長)などでも調べ、331人まで入力できました。

**3**窪丹岡千代分村開拓団が圧倒的に多い  
千代分村は**第1と6部落が20%以上を占める**

| 所属開拓団   | 窪丹岡千代村構成員 | %      |
|---------|-----------|--------|
| 窪丹岡千代村  | 288       | 86.5%  |
| 黒台信濃村   | 7         | 2.1%   |
| 南五道崗長野村 | 18        | 5.4%   |
| 中和鎮信濃村  | 5         | 1.5%   |
| 大八浪泰阜村  | 3         | 0.9%   |
| 水曲柳松島   | 1         | 0.3%   |
| 青少年義勇隊  | 2         | 0.6%   |
| 報告農場    | 1         | 0.3%   |
| 不明      | 8         | 2.4%   |
| 計       | 333       | 100.0% |

333人(帰還者56人も含め)の87%は千代分村が募集した「第8次窪丹岡千代分村(1937年3月)」。それより前の「第5次黒台信濃村(36年)」「第6次南五道崗長野村(37年)」「第7次中和鎮信濃村(38年)」などにも30人ほど参加。

第二部落は、報国農場員や義勇隊員など一時的な集団

しゅうようじょ  
**4**収容所で亡くなった人が**57.1%**

| 最終確認      | 件数  | %    |
|-----------|-----|------|
| 侵攻・避難前に死亡 | 44  | 13.2 |
| 避難中に死亡・自決 | 12  | 3.6  |
| 収容所で死亡    | 190 | 57.1 |
| 戦死・銃殺・事故死 | 6   | 1.8  |
| 帰還途中船上死   | 1   | 0.3  |
| 中国残留して死亡  | 1   | 0.3  |
| 引揚げ・復員で生存 | 56  | 16.8 |
| 不明        | 23  | 6.9  |
| 計         | 333 |      |

1945年8月9日早朝のソ連軍侵攻前に亡くなった人は13%。ほとんどが、窪丹岡などの開拓地で。

避難中に亡くなった12人は、千代分村以外の開拓団員。亡くなった年月日や場所が判っている254人中、83%の210人は8月15日の終戦後に命を落としている。

いん はんしん ごきゆうきけい えいようしつちよう  
**5**死因**1位は発疹チフス、2位・呼吸器系、3位・栄養失調**



発疹チフスで62人(38%)

気管支炎、肺炎などの呼吸器系の病気で亡くなった人が49人(30%)

栄養失調で、亡くなった人が3番目に多い15人(9%)...でした。

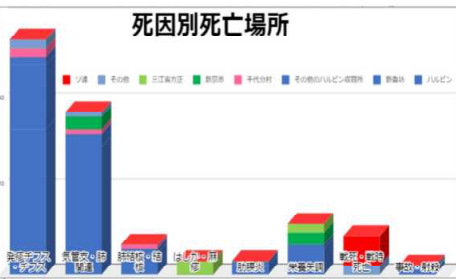
**6**小学生以下が**100人**満州で落命。母親世代も死者多数



私たちよりも年下の子が、呼吸器系の病気や発疹チフスで苦しんで、100人も満州で命を落としてしまった。ほとんどが収容所生活で。

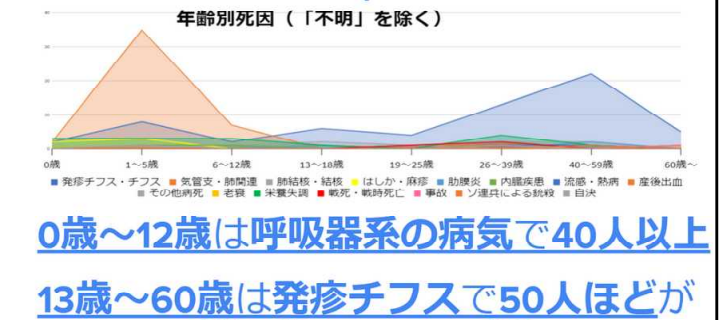
母親世代の70人が発疹チフスや栄養失調などで、苦しみがら亡くなった。

**8**千代の開拓民のほとんどが、戦後後にハルピンの収容所でんせん えいようしつちよう 伝染する病気や栄養失調で亡くなった

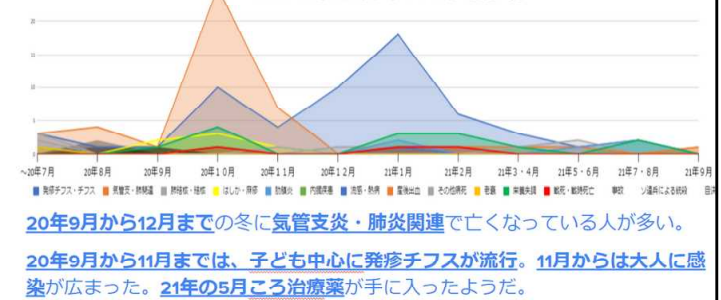


死亡場所「ハルビン」の記載者は、ほとんどが「新香坊」という青少年義勇軍の宿舎跡の収容所。発疹チフス・呼吸器系・結核・栄養失調は、多くがこの収容所で発生。新崎市や方正の収容所で亡くなった人も見られる。

ごきゆうきけい はんしん  
**7**子どもは呼吸器系の病気、大人は発疹チフスが多数



きかんし はい はんしん  
**9**昭和**20年10月**は気管支・肺の病気、**21年1月**は発疹チフスのピーク  
死亡時期別死因(「不明」を除く)



自分達で作成したデータベースを元にして、2023年2月にグラフ化を試み分析をしてみた結果スライドの一部



他の教職員と中日新聞記者も拝聴



子どもたちの発表を聞く増田さん



メモをとってお話を聴く子どもたち

増田信義さんから体験談をお聴きした後、社会の時間に改めて日本国憲法と日本の姿を考えてみた。「岸田内閣が進める防衛費増加は、平和主義の原則から明らかに道を外している。」「自衛隊は軍隊ではないはず。敵の基地を攻撃するのは、今のロシアがウクライナにやっていることと同じ。」「自衛隊の人は、戦場へ行くことになるのでは？」

「先生達の時代は、戦争が無くて良かったね。でも、私達の未来はどうなの？」授業後の感想に、ドキッとする。卒業式の週初め、増田さんから体験談を聴く会のお礼と中学進学に向けた激励メッセージが、一人一人と担任に届いた。

6年生の教室の窓越しに暖かい陽ざしがそそぎ陽春の到来を感じさせる時候となりました。過日は大変忙しい時に感想文を寄せて頂き、心からお礼申し上げます。どうも有り難う。2月28日は限られた時間でしたが開拓団当時のこと、収容所生活、開拓慰霊碑建立等お話し出来て嬉しかった、感謝します。記憶に欠け、話が下手くそで、思っていることが充分お伝え出来なくて申し訳なく悔やんでいます。勤弁して下さい。学習した「戦争の歴史」戦争が二度と起きないよう平和な社会を望みます。小学校の最終年度は学校生活の総まとめの大事な時だけに、慰霊碑の清掃、犠牲者名の拓本とりで時間をついやし、データベースづくり等を仕上げ、貴重な資料が完成されました。ご功績に敬意を表します。ご苦勞様でした。尊敬する坂下先生指導のもと苦勞と努力の結集が見事花咲きましたね。この体験こそ将来やくだつ事があります。必ず活かして下さい。頑張ってください。貴重な資料データベース、CD等贈って頂き心からお礼申し上げます。有り難う。卒業式が迫っています。大きく立派に羽ばたいてください。中学生になったら健康な身体づくりと勉学励んで下さい。期待しています。

令和5年3月9日 飯田市駄科 増田信義

#### 2.4. 5年生との学習研究発表交歓会で満蒙開拓の歴史の学びを引き継ぐ…「学習研究交歓会」で5年生へリレー

3月14日は、芸人の小島よしおさんが5年生が千代ネギをテーマに第19回SBCわくわく科学アカデミー学校科学大賞受賞のテレビ取材で来校。そのリハーサルも兼ねて、「5・6年生学習発表交歓会」を開いた。6年生の目的は、歴史学習を来年度5年生に満蒙開拓の悲しい歴史と千代地区の関わり、その戦跡でもある満蒙開拓慰霊碑のデータベースを引き継ぎ、何が解ったのかをレクチャーすることにあつた。テレビ局2局と新聞2紙のカメラが向けられる前、満州開拓慰霊碑データベースCDと模造紙3枚の紙ベースのものを、6年生から5年生の新児童会長らに手渡すことから始まった。5年生による研究発表の後、Googleスライドを使って満蒙開拓の歴史から満州開拓慰霊碑を巡る活動総括と作成したデータ分析を説明。5年生から感想と評価コメントをもらった。

Google Classroomで作成した6年生が蓄積してきた学びと千代地区の満蒙開拓史に関する資料をまとめた①のページが5年生でも共有できるように設定もした。6年生4人はこのclassroomに入ることができな



5年生に慰霊碑管理を託す



くなる。自分達と同じくらいGoogleのスライド機能などを使いこなして研究発表ができることがこの学習研究交歓会で分かった6年生は、千代の悲慘な歴史が千代小学校で語り継がれることを確信しただろう。

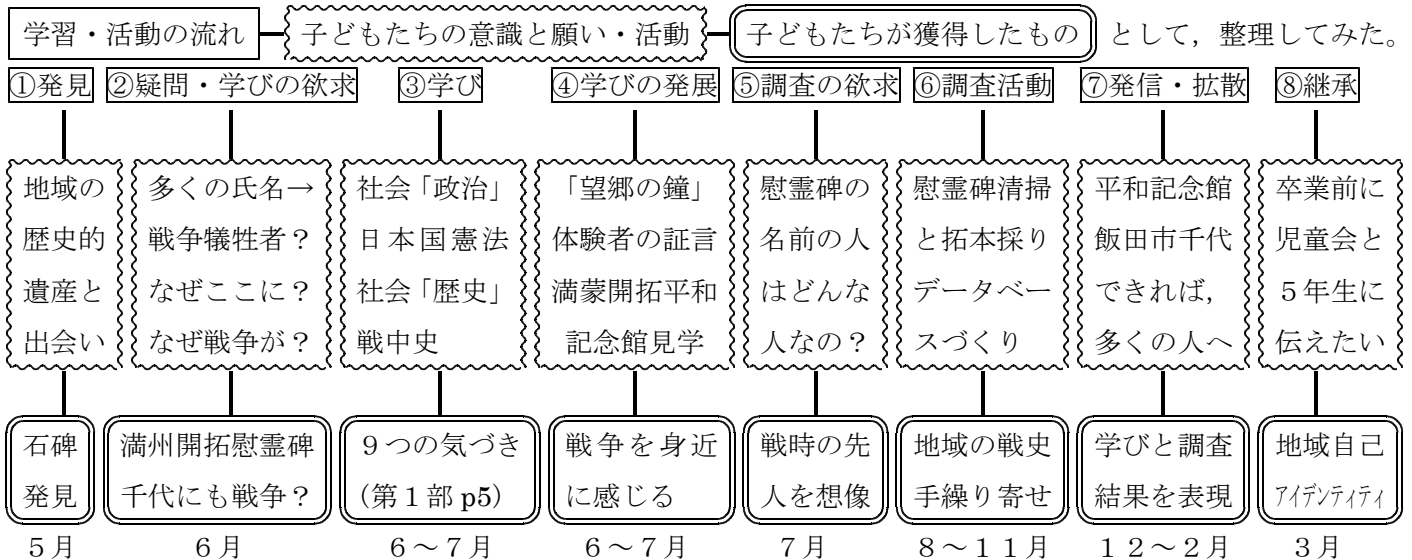
2023年4月、4人は地元の竜東中学校に進学した。新しい学校に慣れた頃、6年生の取り組みの思い出を級友に語り始めた。彼らが巣立った千代小学校では、「満州開拓慰霊碑保存委員会」名で増田信義さんから6年生が託された5万円で、先生方が気軽に満州開拓慰霊碑の整備ができるようにと電動草刈り機を購入した。PTA正副会長の提唱で、子どもたちが慰霊碑の清掃・管理活動が容易にできるようにと、保護者と地域の人たちが草刈りや生垣の剪定をしている。

**25. [エピソード] …地域の歴史遺産 (Historical Heritage) を調べ戦争の歴史を学んだ意義＝地域と自分を知る**

3月9日(木), 1週間後に卒業式を控えた最後の家庭科の授業。家庭科は, 1・2年複式学級担任に交換授業で担当していただいている。家庭科最後の単元「わたしから地域につなげよう! 広げよう!」の最後の授業ということで, 廣籬八幡神社の満州開拓慰霊碑の清掃に行った。担任は交換授業があるため, 初めて担任抜きで慰霊碑に向き合うことになり, またこれが6年生として揃って行く慰霊碑の維持活動の最後となった。担任が献花台に供えてほしいと用意した濃紅の蕾がついた桃の枝と, 清掃道具・金属クリーナー・雑巾を一人一人持って。例年以上に暖かい3月のこの日も, 4月上旬の陽気となった。帰って来た6年生は, いつものように丁寧に清掃をし感謝の気持ちを添えて献花をして来たことを報告してくれた。これからの千代小学校を創っていく1・2年生の担任の先生と同行することは, 大きな意味があると思いき嬉しかった。

3月16日(木) 卒業式後に配布した学年通信「四つ葉のクローバーZ」最終号の最後の一節である。「交歓会後のインタビューでは『これから歴史学習を始める5年生に少しでも満蒙開拓について知ってもらえて良かった』『中学でも詳しく歴史について学びたい』と, テレビカメラに向かって語っていました…(中略)…千代の悲しい歴史と正面から向き合い, 一つの石碑から先人達一人ひとりの人生を調べデータ化し保存。地域の歴史遺産(Historical Heritage)維持存続の実行と下級生へ継承という形で, 世の中に訴えたという偉大なる業績。君達の遺した足跡は, 開校150周年を再来年に控えた千代小学校のあゆみ, 飯田市千代の歴史, さらに長野県の教育史に燦然と輝き, 人々の記憶に残るでしょう。これからの人生, この経験を活かし, 精進と挑戦を継続して行きましょう。」

5月末から約10か月かけた実践が, 終わった。



こうしてみると, (1)地域に眠る素材の掘り起こしと子どもたちの気づき (2)地域の歴史的遺産と改めて向かい合い, 先人への思いと史実への疑問を持つ (3)社会科等教科の単元組み替えによる学習+世界情勢のとらえ→わが国の戦史と現状の比較 (4)地域歴史素材の具体的教材化と子どもたちへの提示による意識の可視化・系統化(5)能動的な活動の提示…偶然, 地域の方からの行動提起…教師の意図に合致 (6)歴史遺産を教室に移す・映す・写す活動とパソコン学習・ICT教育の活用しての資料作成作業活動 (7)振り返り→活動の成果をどうするか? →「拡散したい」「後輩につないでほしい」→外部団体「満蒙開拓平和記念館」「飯田市歴史研究所」の協力とマスコミの発信力 (8)児童会組織と, その担い手の中心・5年生へのアプローチという流れが見える。最終的に, 6年生達は卒業の日に, 「ふるさと千代にはいろいろあるけれど, 満蒙開拓の悲惨な歴史も, 千代の財産であるんだ。」「自分達の地域の特性の一つだ。」「小学校最後の一年間で, 地域に眠っていた大切な歴史を掘り起こし目覚めさせ, 世の中に出すことに成功したんだ。」「これからの自分には, この学びを広め, 伝える役割があるんだ。」と自己のアイデンティティへの誇りを自覚して, 小学校を巣立って行った。

【参考資料】…農地に乏しい千代村は、広大な農地を求めて最も好条件の満州開拓地を希求し入植した

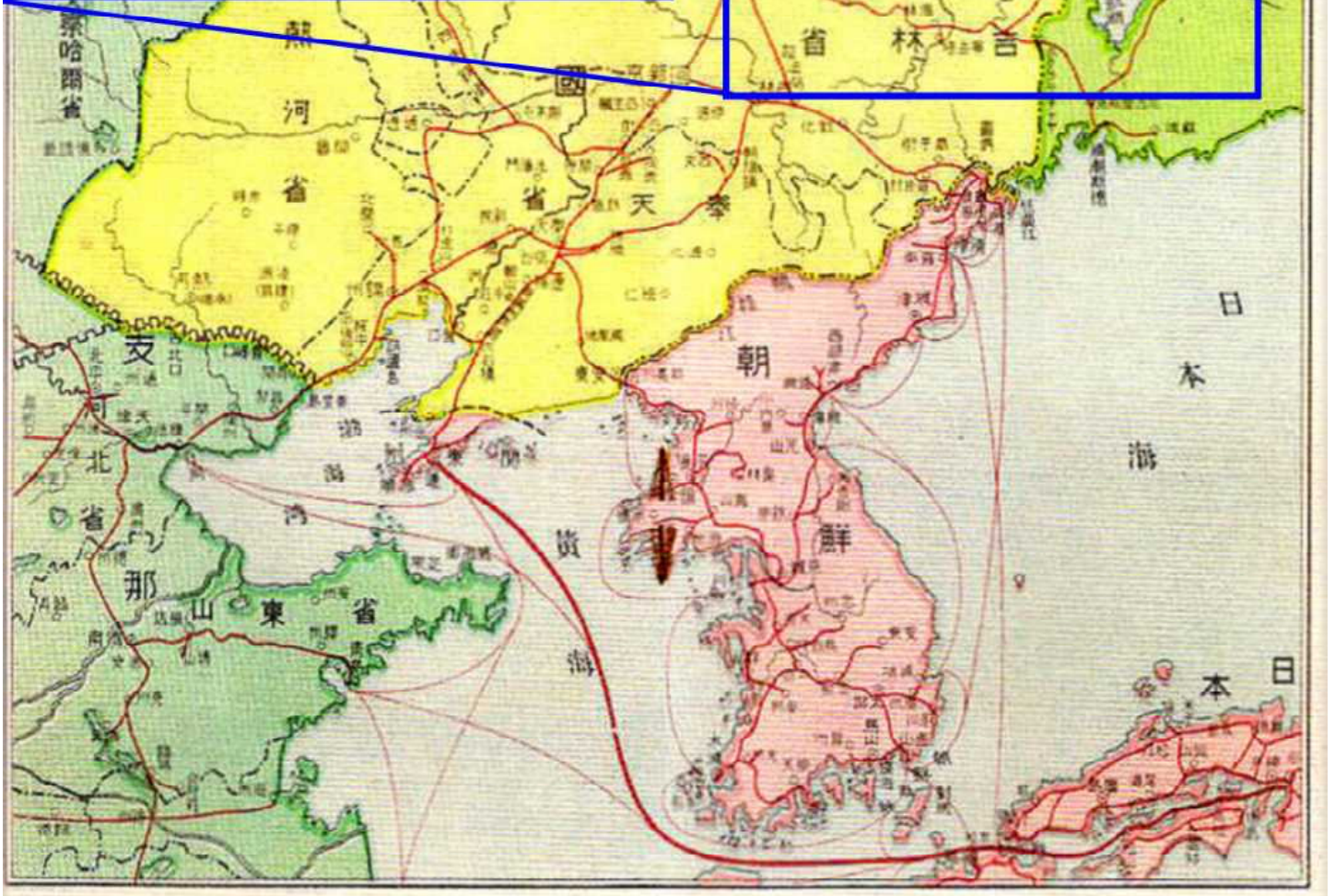
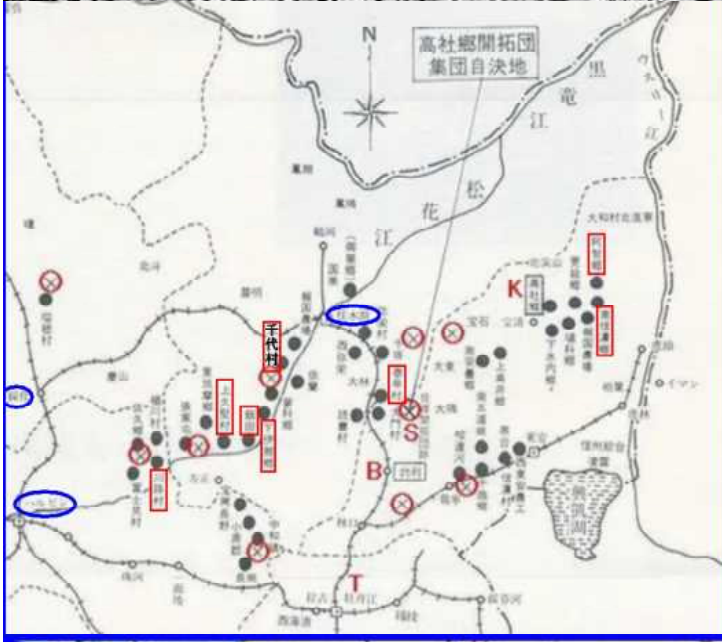


←千代地区（千代小学校区と千栄小学校区）起伏図

…平地・農地が殆ど無い山間傾斜地に、戦前当時に11集落4,800人が養蚕業・林業中心に暮らしていた。

↓1944(昭和19)年の満州国地図と●印の長野県開拓団位置図

…千代分村はそのほぼ中心に位置。敗戦3か月前の最終入植の阿智郷と南信濃郷は、ソ連国境のウスリー川から僅か40km。◎印は集団自決地。



## 生徒による平和学習の取り組み ～映画「カンタ！ティモール」上映会と東ティモール留学報告～

1

### 東ティモール留学報告 映画カンタ！ティモール上映報告

上田染谷丘高校2年 国際教養科 直井朝子 中越こよみ

2  
活動内容

カンタ！ティモールの上映会

映画の舞台！東ティモールへの留学

3

きっかけ

- カンタ！ティモール見て新発見！
- 同世代の人に見てもらいたい！

4

きっかけ

東ティモール独立20周年  
記念イベント with ハポネタイ



5

映画紹介



6

上映会 at犀の角

at染谷



7



8

信濃毎日新聞にも載りました。



9



10

11

# 東ティモールの留学報告

直井朝子

12

# 目的

- ・ カンタ！ティモールの上映会をするため
- ・ パーマカルチャーを学ぶキャンプに参加するため



13

ハプニングの末、無事東ティモールに到着！！



14

8/2~8/4

東ティモールの伝統的な織物、“タイス”を織っている家族のお家に泊まらせてもらいました！



15



16

8/5~8/8

アタウロ島へ！

8/9~8/10

サメヘ!

行く道中、ディ  
リとはまた違う  
街の様子を見れ  
ました。



17

楽しそうな暮ら  
しの反面、道中  
には沢山の戦争  
の跡地も見えま  
した。



18

8/11 第一回カンタ!ティモール 19  
上映会



8/12~8/13

マリアナヘ!



20

8/13 第二回カンタ!ティモール 21  
上映会



8/14 第三回カンタ!ティモール 22  
上映会



アレックスの家族と  
映画を見ました!!

感想

23

- ・発展ってなんだろう?
- ・これからどう暮らして  
いくべきか



### ～それってホントに関係ないの?～

主催：直井朝子、中越こよみ

**日時** 6月16日（金）9：00～12：05 **場所** 第一体育館

**座席** 自由（クラス・場所・座り方） **ゲスト** 広田夏子さん（Canta! Timor 監督）

|                  |              |                   |       |     |
|------------------|--------------|-------------------|-------|-----|
| <b>タイムスケジュール</b> | 集合・オープニング    | あいさつ・説明・注意        | 10分   |     |
|                  | 上映会          |                   | 110分  |     |
|                  | -----        | 休憩                | ----- | 10分 |
|                  | ①：監督にインタビュー！ | 生徒が監督にインタビュー      | 25分   |     |
|                  | ②：みんなで話そう！   | ～監督、先生、生徒の垣根を越えて～ | 25分   |     |
|                  | エンディング       | あいさつ・連絡           | 5分    |     |

#### ①監督にインタビュー

- 広田監督とインタビュアーが壇上に上がる
- インタビュー形式
- インタビュアーは事前に質問を考える  
→内容の重複防止のため、打ち合わせを行う
- 他の生徒や先生方からも質問や感想を受け付ける  
→・インタビュアーの質問が一巡した時  
・25分の半分時間が過ぎた時

#### ②みんなで話そう！

- 監督、生徒、先生が入り混じって対話を行う
- 時々進行の2人がインタビューしに行き、その内容について意見をもらう

#### インタビュー募集方法

- 1.生徒用配布プリントにGoogleフォームのQRコードを記載
- 2.クラス、名前を記入→応募完了  
※定員オーバーした場合は理由をきき、選考する

#### 応募してほしい人のイメージ

戦争・平和について興味があり、探求活動など何かしたいと考えている人

#### 上映会終了後

ゲストで来てくださった広田夏子さんへお礼の手紙（質問でも可）を生徒1人ずつ書き、渡す

## ①昨年の上映会を振り返って

去年の八月、私たちは上田市にある犀の角という小劇場で「カンタ！ティモール」という映画の上映会を実施しました。チラシ作りや募金活動、会場とのやり取りなど全て1から自分たちの手で準備していきました。信濃毎日新聞さんにも私たちの活動のことをのせていただいたこともあり、当日は合計40人ほどの参加者が集まりました。私はこの映画を特に若者に見てもらいたいと思っていましたが、当日は高校生など若者の参加者は少なく、心残りとなりました。

## ②今回の上映会の目的

今回の上映会では、戦争に興味がある人もない人も「身近に捉える」ことを目的としています。映画や対話の中で身の回りで起きていることに興味を持つ大切さを知ってもらえたらと思っています。そして、行動に移すヒントを見つける場になったらいいな！と思っています。

日本では一応憲法で戦争はしないように決まっているので、世界で起こっている戦争に関して他人事になりがちです。しかし、そんな日本もどこかで戦争に関わっているかもしれません。他人事のままにならないで！と伝えたいです。

## ③対話をすることで、自分の考えを持とう！

今回の上映会では「対話」にも目を向け、大切にしたいと思っています。学校での講演会の後は毎回感想用紙を記入しますが、ただ書くだけで終わってしまい、自分の考えにまできていないように感じます。しかし、そこに話すことが加わることで、違う意見の人の話を聞き、自分の意見がより深掘りされます。自分の意見を言うのが怖いという人でも、仲の良い人となら反論もできるはず！そうして自分の明確な意見を見つけてほしいと思います。先生方にもぜひ生徒とでも、先生方同士でも対話の時間に参加してもらえたらと思っています。

## ④自然な意見を持てる環境づくり

今回の上映会では、上映中および対話の時間の着席の仕方をクラスも座り方も見方も自由にしたいと思っています。そうしたい理由は、上映中ずっと地べたに座っているのが苦痛になってしまい映画を見るのが苦になってしまうのは嫌だと思ったからです。また、クラスも関係なく自由に座るということについては対話をするとなった時に仲の良い人とは自分の意見を言えない人がいると思ったからです。ですが、仲の良い友達と一緒に座ったら私語をしてしまうかもしれません。しかしその対策として、呼びかけをするほか対話の時間は私たちインタビューしに行ったり、監督や先生方に協力していただき生徒たちが何を考えているか聞いていくことを考えています。

～もともとホントは関係ないの？～

**日時** 6月16日(金) 9:00～12:00  
**場所** 第一体育館  
**座席** 自由(クラス・場所・座り方)  
**ゲスト** 広田奈津子さん (Canta!Timor 監督)



### タイムスケジュール

|            |                   |      |
|------------|-------------------|------|
| 集合・オープニング  | あいさつ・説明・注意        | 10分  |
| 上映会        |                   | 110分 |
|            | 休憩                | 10分  |
| 監督にインタビュー! | 生徒が監督にインタビュー      | 25分  |
| みんなで話そう!   | ～監督、先生、生徒の垣根を越えて～ | 25分  |
| エンディング     | あいさつ・連絡           | 5分   |

### 監督にインタビュー

広田監督に戦争についての質問、撮影時の裏側の話、自由に考えた質問に答えていただけます！  
 質問したいみんな！インタビュアーになって、聞いてみよう！  
 当日は他の生徒や先生方からも質問を受け付けます！

### インタビュアーになりたい人こちらから！

イメージ：戦争と平和に興味があるでも、どんな人でもOK！  
 Googleフォームより募集を受け付けています  
 募集期間：6月5日(月)～6月9日(金)23時59分

### みんなで話そう！

生徒、広田監督、先生みんなが入り混じって対話をします！  
 戦争をなくすためにはどんなことができるのか。対話をすれば、なにかが見えてくるかも..!

### インタビュアーが当日やる事

インタビューの時間になったら監督と一緒に壇上にあがって頂き、事前に考えてもらった内容を順番に質問してもらいます！

### 事前に準備してもらおうこと

インタビュアーは事前に3つほど質問を考えておいてもらいます。また、内容の重複防止のため、事前に打ち合わせを行う予定です。

### 紹介

「ねえ仲間たち ねえ大人たち 僕らのあやまちを 大地は知っているよ」  
 舞台は南海に浮かぶ神々の島、2002年にインドネシアの軍事侵攻をはねのけ独立を果たした東ティモール。ひとつの歌から始まった運命の旅の、音楽あふれるドキュメンタリー映画。この島を襲った悲劇と、それを生き抜いた奇跡の人々。その姿が世界に希望の光を投げかけます。



### 東ティモール共和国とは?

首都をディリにもち、テトゥン語とポルトガル語を公用語としています。インドネシアの南に位置し、近海に多くの資源を眠らせていることからこれまで幾度となく他国から植民地支配を受けてきました。映画から伺える温暖な気候と、豊かな自然と海の幸に人々の暖かさが感じられると思います。

【プロデューサー】小向定こむかいさだむ  
 【監督】広田奈津子ひろたなつこ  
 【シナリオ/編集/ナレーター】広田奈津子  
 【助監督/音楽監督】小向定  
 【監修】中川誠(Seed Flower Project)  
 【監修】田島真幸(報道写真記者・著作「いつかロケエの朝で東ティモール -ゼロからの出発」)  
 【企画・製作】広田奈津子/小向定

### 今回の上映会での目標!

昨年の8月海野町商店街にある岸の角という小劇場でCanta!ティモールの上映会を実施しました。そこでは沢山の参加者が来てくださったのですが、最初の目的の同年代の方に参加してもらう事は達成できませんでした。なので今回は同年代に映画を見てもらうため、学校での上映会を企画しました!

今回の上映会では戦争に興味があってもなくても「身近に捉える」ことを目的とします。映画や対話をする中で身の回りで見始めていることに興味を持つ大切さを知ってもらえら..!と思っています。

### 注意事項!

- ・映画の上映中は私語は慎み、お静かにお願い致します。
- ・当日は長時間の企画となりますので、クッションやブランケットなど、ご自由にお持ちください
- ・熱中症対策のため、水分補給はしてもらって構いません。



これまでの上映会の活動のことを知りたい、私たちに質問がある、改善点や意見がある方々、こちらのQRコードを読み取りInstagramへ、または私たちのいる教室、2-7へお願いします！  
 今後の探求活動などの参考にできれば幸いです！



2023年(令和5年) 6月 27日

## カンタ！ティモール上映会、無事終了。

2023年6月16日。何人かの人にとって、忘れられない1日となったのではないのでしょうか。主催者の直井さん、中越さん、本当におつかれさまでした。素晴らしい企画をありがとうございました。そして、監督のアフタートークで素晴らしい質問をしてくれた1組ミルドレンさん、3組川井さん、7組多胡さん、三澤さん、ありがとうございました。あの質疑応答の時間は、監督とみなさんが言葉を超えて魂と魂でコミュニケーションをしているような、奇跡のような時間でした。会場の誰もが、深く自分事として戦争について考えることができたのではないのでしょうか。



### 広田奈津子監督より

6月16日、皆さんに会えて、お顔が見れて、本当に嬉しかったです。体の奥底からワクワクすることへ、恐れずに進んでください。私が微々たる力にでもなれる時は駆けつけます。

一つ、お話しできなくて気になっていました。交流の時に、「ティモールの人の苦しみに比べたら自分の苦しみなんて」という話がありましたが、どうか比べないでください。どんなことでも、辛かった、悲しかったことは、心がそれだけ柔らかく、傷を得た、ということであり、それはとても大切な受信だと思えます。まず痛いところをしっかりと手当をしてください。傷を得た経験はいつか、誰かを助けるはずと思えます。だから本当にありがとう。

皆さんの歩む道が美しいものでありますように！お祈りしています。

主催のお二人、そしてたくさんの良い顔をした仲間たち、本当にありがとう！！



## 7組 直井朝子さんより

先日は貴重な探究の時間を「カンタ！ティモール」の上映会に使わせていただき、本当にありがとうございました！皆さんと一緒にこの映画を観れたことを本当に嬉しく思います。

私が上映会を開こうと思ったのは、映画を初めて観た時、戦争をしている世界に対する怒りの気持ちと同時に、自分がちゃんと深く考えていなかったことへの恥ずかしい気持ちが混ざっていました。また日本に住んでいながら自分の住んでいる国が何を行っているのかわからないままなのはおかしいことだと思いました。そしてみんなにこのことを知ってもらうには上映会を開くしかない！と思いました。そして犀の角と染谷の2か所での上映会を無事成功させることができました。犀の角での上映会は大人の参加が多く、当初の目的だった高校生の参加がほとんどありませんでした。なので学校での上映会が決まったときは本当に嬉しかったです。学校での会も、皆さんの意見がたくさん聞けてとても楽しかったです。学校での上映会が皆さんにとって良い機会になっていたらとても嬉しいです！また、募金に参加してくれた方々、本当にありがとうございました！！

## 7組 中越こよみさんより

上映会の機会をくださり、本当にありがとうございました！ご協力いただいた先生方をはじめ、2学年のみなさんに感謝申し上げます。

私がカンタ！ティモールを初めて見たとき、戦争の残酷さだけでなく、「他人」意識の残酷さに気づかされました。どうにかしたいと思う反面、私みたいな小さな力で何ができるのかと思い、八方ふさがりのような気持ちでいっぱいになったことを今でも覚えています。答えが見つからないまま朝子ちゃんと活動を続けてきましたが、染谷での上映会を終えてできることを少しずつやっていくことの大切さに気づきました。何かしたい！という漠然とした思いがここまでの活動にふくらんでいったことに感動しています。小さな力を信じて大きな力になっていった経験を今後の自分の挑戦に活かしていけたらいいなと思っています。

## 広田監督に宛てたメッセージ&感想を紹介します

・「傷つけられたが、傷つけてはいない。だから救ってくれるはず。」このセリフはまさにティモール人だからこそ出たセリフだと思う。戦争というものについての考え方が変わった一作だった。彼らの「戦争」は鉛玉でも爆弾でもなく「心」にうったえかける。0から平和を作ろうという精神に感動した。今回僕が学んだのは「戦争に対し、一人ひとりができること」です。SDGsも「一人ひとりができること」といったらすぐに思いつきます。でも戦争は？こう考えた時、僕は答えが浮かびませんでした。でも今回映画を観て、一つ答えが出ました。しっかりとこういった本当の平和を目に焼きつけることだと思います。いざという時に憶えておけば、他人を思いやれるし、発言も変わる。何より、この平和を伝えてゆけると考えました。

・この映画を観ることができて本当に良かったです。東ティモールについてや、その戦争についてをこの映画を観て初めて知りました。すべてが衝撃的でした。インドネシアの方々は命がけで投票をした、というのが特に印象に残りました。自分が投票権を得たら、何があっても投票しようと決めました。「カンタ！ティモール」は一生忘れない映画になりました。本当にありがとうございました。

## 『加害の歴史から考える』～戦争を考え続ける意味～

〈今回のレポートに関わる歴史について〉

### ・大久野島と毒ガスについて

戦時下で毒ガスの製造工場として大久野島が活用された。  
1929年から1944年ごろまでに、約6600トン製造された。  
1925年にジュネーブ議定書によって、毒ガスの使用は禁止されていた。  
日本軍は、英米との戦争では毒ガス使用を避け、主に日中戦争で用いられた。  
終戦後、残された毒ガスは、その場に遺棄された。  
中国では遺棄された毒ガスによる事件が起きた。  
大久野島でも戦後、幾度かにわたって毒ガスの廃棄問題が起こっている。

### ・満蒙開拓と大日向村について

1929年 世界恐慌が起こり、長野県の養蚕業が大きな打撃を受ける。  
繭価1貫7円が2年の間に3円まで下落。大きな赤字を抱え込む。  
1931年 柳条湖の鉄道線路爆破。満州事変によって満州への侵略が進む。  
1932年 満州国を建設。  
1933年 二・四事件。長野県で教員を含む608名が検挙。  
1937年 分村移民のモデルケースとして大日向村が満州へ移民。  
1940年 映画「大日向村」が上映。  
1945年8月9日 ソ連が日本へ宣戦布告。満州国への侵攻が始まる。

## ○教育が戦争に利用された。

### \* 毒ガス製造にかり出された学生 \*

戦時中、大久野島で毒ガス製造の工員となった藤本安馬さん

高等小学校の卒業直前、教師に「金をもらいながら勉強できる場所がある」と誘われた。昭和41年、14歳で大久野島の工員養成所へ。島に渡ると刺激臭が鼻をつき、木々は枯れていた。教官は言った。「君たちは毒ガスを作る。一切口外してはならぬ」

東京新聞<つなぐ 戦後74年>毒ガス製造、加害の悔恨 「人の面をかぶった鬼になってしまった」より



## \* 大日向村の分村移民に参加した青年 \*

最初に満蒙開拓に参加した第一次先遣隊の隊員20名のうち、妻帯者は5名のみ。一番乗りが独身の青年たちの熱気によって行われた。先遣隊の隊員は、その後、御牧ヶ原修練農場で1か月の訓練を行った。(現在は農業大学校になっている)

銀河書房「満州・浅間開拓の記」より

○戦争をするムードが形作られていった。

## \* 映画の上映やプロパガンダポスター \*

明治40年(1907)に満州鉄道が開通し、大正に入ると満州を舞台とする映画が何本も制作された。大日向村でも、一軒あるばかりの小さな映画館「栄キネマ」で上映された。満州鉄道爆破に端を発した満州事変勃発後、日本軍の侵攻に抵抗する満州の人々は「匪賊」と呼ばれ、悪役として映画に登場した。



↑映画「大日向村」



→マ



当時の子どもたちの遊びが戦争ごっこ一色になり、ガキ大将が「正義」を宣言し、力の弱い子供が匪賊役となって、あぜ道を駆け回っていた。

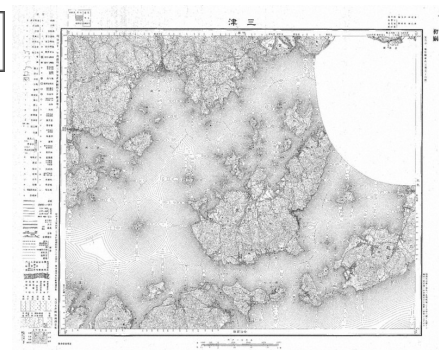
## \* 徹底的な情報統制 \*

白く抜き取られた大久野島→

毒ガス製造を始めた大久野島は、毒ガス製造の事実を伏せ、他国からの侵略から身を隠すように、当時の地図から消された島となった。

大日向村分村移民後・・・

勧誘の演説の中や内地の訓練所では、匪賊の匪の字も教えられなかった。...しかし「ここで君たちが覚えるのは、銃の使い方と警備訓練だけでいい」と、教官は動揺する移民たちにきっぱりと言い放った。



匪賊の存在を内地の人間に伝えることは厳禁されていた。「もしもそんなことが知れわたったら、もう誰も満州なんぞには渡ってこなくなる。そうなれば先に来た我々全員がこの大陸で孤立し、命を落とす羽目になるぞ。」だから内地に送る手紙には、匪賊には一切触れず、どれだけ実りの多い土地か、どれだけ幸せな日々を送っているかということだけを書き連ねた。

○反戦の訴え、疑問の声が広げられなかった。

\* 満蒙開拓に疑問を抱く声 \*

借金を抱え途方に暮れていた大日向村の村人であっても、満州の話には慎重だった。うまい話には気をつける。養蚕王国の夢に敗れ、打撃を受けた村人にとって、肥沃な土地に加えて一人頭千円の補助金が支給されるという話は、何か胡散臭いように思われた。「誰かがやって成功したら、ウチでも一口載らせてもらいましょう」とお互いに相手の出方を伺っていた。

最後に…

○なぜ戦争を起こしてはいけないのか、なぜ学び続けたいといけないのか？

それは…

○再び教育が戦争に利用されないようにするため

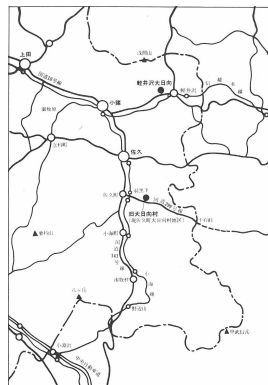
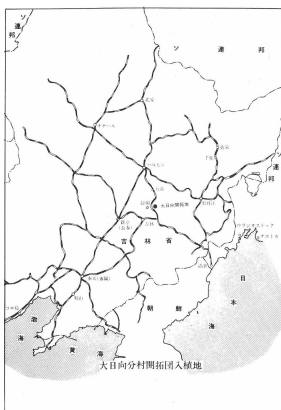
○戦争に近づこうとする雰囲気を感じ取るため

○戦争の事実を伝え、二度と起こさないと誓う仲間を増やすため

と、私は思いました。

○総合の時間で取り組み始めたこと

このレポートに携わってから、多くの発見と出会いがあり、「もっと調べてみたい」「子どもたちにも伝えたい」と思うようになりました。軽井沢西部小から徒歩10分のところにある泉洞寺の満蒙開拓慰霊碑。大日向村分村移民から帰郷し、軽井沢の大日向地区を開墾した歴史。まだ歴史の学習を行っていない5年生の時点から、どのように満蒙開拓の歴史を伝えていくか、迷いながら進めています。アドバイス、アイデアがあったら教えてください！





## 「韓国の様々な事象を、体験・交流の学習活動を通して、 五感で感じ、学んでいく学習を願って」

### I はじめに

ここ十数年、教育研究集会では、毎年「人権・平和・国際理解」に参加させて頂いています。

今、こうやって仕事ができているのは、自分がとりあえず健康であると同時に、この日本が何とか平穏・平和であるからだと常々感じています。

ですが、この平穏・平和がいったいいつまで続くのか……不安になる事案が国内・国外、あまりにも多く起きているのが実情です。

今、生活できていることがどれだけ有り難いことか…、そしてこれが当たり前ではないということ、子どもたちに平和の大切さ・有り難さをもっと考えてほしい…そして、この平和が当たり前だと勘違いして（チョコちゃん曰く）“ぼうっ”と生きている（危うい平和の上にあぐらをかいている）自分の甘い気持ちを一喝すべく、「平和・人権と国際連帯の教育」分科会に参加させて頂きました。

昨年度、本校の重点研究で「交流・体験」グループが立ち上がり、子どもたちが五感を通して、様々なことを学んでいくための実践方法を研究する機会をいただきました。

その中で、「総合的な学習の時間」を基盤に、平和学習の視点を据え、実践を進めていきたいと考えました。理由は文字通り、上記に記した平和の大切さ・有り難さについて学習するためです。

以下、昨年度自分が担任にした4学年の子どもたちとの平和学習（総合的な学習の時間を学習形態として）の実践です。拙い実践ではありますが、ご参照頂ければ幸いです。

### II 実践内容

「総合的な学習の時間」では、体験学習を中心に、〔特に体全体を使って、自然（特に土や植物）にたくさん触れてほしいと願いを持って〕学習を進めてきた。

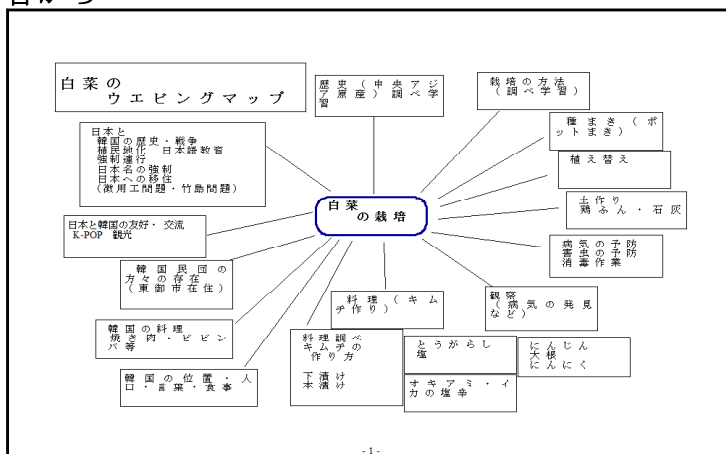
1学期に取り組んだジャガイモの栽培活動「ジャガイモづくりにチャレンジしよう！」が契機となり、2学期は白菜の栽培活動「白菜・キムチづくりにチャレンジしよう！」に取り組むことになった。子どもたちの話し合いから、主に次の3つの学習活動「白菜の栽培活動」「白菜の料理“キムチ作り”」「韓国について調べよう。」が据わった。

そこで、教師サイドでは、「白菜の栽培」のウエビングマップを作成し、子どもたちの様々な興味・関心にできるだけ対応できるようにしたいと考えた。

## 「韓国について調べてみよう！」の学習から

韓国について調べる学習を通して、子どもたちの中から、以下の9つの内容について調べたいという願いが出てきた。

- 1 「日本と韓国の首都・面積・人口（社会科と関連させて）」
- 2 「日本に住んでいる韓国の方たち（在日韓国人）」
- 3 「日本で人気の韓国グループ」
- 4 「日本で人気の韓国料理・スイーツ・おもちゃ」
- 5 「日本と韓国の食事のマナー」



- 6 「日本と韓国で人気のスポーツ」
- 7 「日本語と韓国語比べ」
- 8 「日本と韓国で人気のペット」
- 9 「日本と韓国で（小学生がなりたい）人気の職業」

そこで、クロームブックなどを利用し、調べ学習に取り組むことにした。子どもたちは、非常に興味・関心を持って、調べ学習に取り組む姿が見られた。

以下、子どもたちからの発言等である。

- 1 「日本と韓国の首都・面積・人口（社会科と関連させて）」について
  - 「日本の方が面積が広いんだね。（約4倍も広い。）人口も日本の方が2倍以上も多いんだね。」
  - 「あれ？韓国の北（上）の方にまっすぐな線〔境界〕がある。何という国だろう。」
- 2 「日本に住んでいる韓国の方たち（在日韓国人）」について
  - 「日本には在日韓国人の方が、44万人もいるんだ。おどろいた！」
  - 「長野県には、約4000人近くの韓国の方が暮らしているんだね。多いね。」
  - 「上田市や東御市にも約300人くらいの在日韓国人の方がいるんだね。」
  - 「どうして、日本にこんなにたくさんの在日韓国人の方が住んでいるんだろう？」
  - 「キムチ作りを教えてください。韓国民団って、何なんだろう？」
- 3 「日本で人気の韓国グループ」について
  - 「韓国のグループの人たちって、すごいよね。歌もダンスも上手だし、日本語も上手だし…。でもなんで日本にも来てくれるんだろう？」
- 4 「日本で人気の韓国料理・スイーツ・おもちゃ」について
  - 「日本の料理かと思っていたけれど、こんなにたくさんの料理が韓国料理だったんだね。びっくりした。」「なぜ、韓国の料理がこんなに日本にあるんだろう？」
  - 「韓国のお菓子、大好きだから、けっこう家においてあるよ。」
  - 「ぼくの弟、韓国のおもちゃで、よく遊んでいるよ。」
  - 「でも、日本は、韓国に料理やおもちゃを売ってるのかな？」
- 7 「日本語と韓国語比べ」について
  - 「日本語と韓国語って、そっくりな言葉がいっぱいあるんだね。まるで兄弟か親戚みたいだね。ハングルをおぼえてみたいなあ。」
- 9 「日本と韓国で（小学生がなりたい）人気の職業」について
  - 「日本と韓国では、なりたい職業がちょっと違うことが分かった。でもなぜ韓国の小（中）学生は、軍人になりたい人が多いんだろう？不思議な感じがする。」

全体の感想や気づきから

- 「韓国のことがもっと好きになった。いつか行ってみたいなあ。」
- 「韓国語を話せるようになりたいなあ。」
- 「でも、ぼくたちは、韓国のことが好きだけど、韓国の人にはぼくたちのことをどう思っているんだろう。テレビで日本の旗が焼かれているのを見たよ。」
- 「こんなに韓国の物が入ってきているんだから、きっと（日本のことが）好きだと

思う。」

○「**韓国のグループの中には、日本の人もいるよ。**」

※2について：「日本に住んでいる韓国の方たち（在日韓国人）」については、キムチ作りで韓国民団東信支部の方に、キムチ作りを教えていただくことを子どもたちに事前に話した。そのことで、在日韓国人の方が上田市や東御市に住んでいらっしゃることを学んだ。

※3について：「日本で人気の韓国グループ」の調べ学習や発表の場面では、今人気の韓国のグループBTSやASTRO、ENHYPEN、NiziU、TWICEに、子どもたちは興味津々。友だちと嬉しそうに話をしながら、プリント等にまとめたり、紹介したりする姿が見られた。

※4について：「日本で人気の韓国料理・スイーツ・おもちゃ」では、子どもたちの発表から、教師も韓国のスイーツやお菓子・おもちゃ等多くの種類の商品が、今日本に入ってきていることを驚きを持って知ることができた。（子どもたちの情報量の多さに改めて驚かされた。）

ちなみに、**日本で人気の韓国スイーツ**

第1位「ホットク」第2位「トゥンカロン」第3位「クロッフル」第4位「レインボーケーキ」

**日本で人気の韓国お菓子**

第1位「サムブリ（菓菓）」第2位「トロリープラネットグミ（地球グミ）」第3位「マランカウ」

※9について

**日本であこがれの職業【小学生】（2023年）**

**韓国であこがれの職業【小学生】（2021年）**

第1位 スポーツ選手  
第2位 教師  
第3位 漫画家・イラストレーター  
第4位 医師  
第5位 研究者  
第6位 動物園・遊園地  
第7位 建築家  
第8位 ゲームクリエイター  
第9位 パティシエ・パン職人  
第10位 看護師・IT関係

第1位 スポーツ選手  
第2位 医師  
第3位 教師  
第4位 クリエーター  
第5位 プログラマー **軍人（中学生）**  
第6位 警察官  
第7位 料理家  
第8位 俳優・モデル  
第9位 歌手  
第10位 法律専門家

上記の調べ学習や発表から、様々な意見や感想・気づきが発表された。その中から「韓国の人たちは、日本をどう思っているのだろうか？」という新たな疑問が生まれ始めてきた。

それは、「韓国と日本の歴史的関係（戦争による韓国併合、在日韓国人の方々、反日感情等）」そのものであり、日韓関係におけるデリケートな問題を含んでいる。

教師サイドでは、上記の「韓国と日本の歴史的関係」について、「子どもたちに何を学ばせたいのか」、「子どもたちのどんな姿を願うのか」また、「そのための手立てをどうするのか？」を慎重に吟味していく必要があると思われた。

そこで教材として考えた手だては、「各国の日本に対する印象（好感度）」〔資料：【世界12カ国の親日度調査】日本への好感度…（PR TIMES）〕を子どもたちに提示（紹介）することであった。

上記の資料（2021年調査）によると、各国（香港・台湾・アメリカ等）の親日度（好き・大好き）は、およそ80～90%であるのに対し、韓国の親日度はおよそ60%代である。上記の資料を子どもたちに紹介することにした。この資料を提示することで、「韓国の方々、日本をどう思っているのか・どう感じているのか」を、まずとらえることができるのではないかと考えた。

以下が、この資料を提示した時の子どもたちの発言である。

- 「私たちがこんなに韓国が大好きなのに、なぜ？とてもショックだった。」
- 「なぜ、韓国の方は、そんなに日本が好きじゃないの？」
- 「じゃあ、なぜ韓国民団が日本にあるの？」
- 「なぜ、韓国の方が日本にたくさん住んでいるの？」
- 「おじいさんが、“昔日本は戦争をしていて、いろいろな国とたたかっていた”っ

て言ってたよ。」

○「韓国では、なりたい職業に軍人があったけれど、まだ戦争をしてるのかな？」

↓

**新たな学習問題「なぜ、韓国の人たちは、日本があまり好きではないのだろうか？」**

子どもたちから出てきた新たな学習問題を解決することで、上記の1～9の学習活動で生まれてきたいくつかの疑問も解決するための糸口になるのではないかと考えた。

そして、これらの学習を通して、子どもたちが「反日感情が生まれてきた背景や理由」「韓国の方々の思い・願い」を知り、「日本と韓国がより仲良くなっていくためには、自分たちはどうしていったらよいのか」を考える機会としたかった。

そこで、韓国民団東信支部の方々〔李月仙さん、洪由美さん〕に直接お会いして、お話をさせていただく手だてを考えてみた。

「資料等から単に事実を学ぶのではなく、戦争（韓国併合・朝鮮戦争）という苦難の歴史の中で必死になって生きてこられた方々に実際にお会いし、そこから生身の（切実な）体験をお聞きし、自分たちのこれからの生き方・考え方を学んでいくこと」が大切ではないかと考えた。子どもたちが五感全体を使って、学んでほしいと考えた。

この度、韓国民団東信支部のご紹介により、李月仙さん、洪由美さんに、お話をさせていただく機会を持つことができた。（事前に、教師とお二人でお話をする機会を持ち、内容について打ち合せをさせていただいた。）

以下が李月仙さん、洪由美さんが子どもたちにお話をさせていただいた内容である。

#### 李月仙（イウォルソン）（日本名：林すみ子）さんからのお話…

- 日本がアメリカ・イギリス等と戦争をしていた頃（第二次世界大戦の頃）のこと
- 日本が韓国を植民地にしたこと（韓国の土地を日本のものにしてしまったこと）
- 韓国の土地を日本が取ってしまった。そのため畑がなくて、家族で日本に移り生活をする人がたくさんいた。
- “日本の名前を付けるように”と言われた。だから李さんは、林という名前も持っている。
- 韓国では、学校で日本語が教えられた。
- オリンピックで金メダルをとった韓国の選手が、日本の旗を持たされた。
- （○松代には、戦争の命令を出す大本営が造られた。韓国の人たちの中には、無理やり働かされた人もいた。※強制連行）
- 戦争が終わって、韓国に帰ろうとした人もいた。でも朝鮮戦争が起きて、帰れなくなってしまった韓国の方たちがたくさんいた。（韓国が2つに分かれてしまった。）※李（林）さんの家族もその一人だった。
- まだ、戦争は終わっていない（休戦の状態であること）
- 韓国には徴兵制があること（男子は必ず軍隊に入らなければいけないこと）
- いろいろな過去があったけれど、今日本が大好きであること。もっと韓国と日本が仲良くなってほしい。

#### 洪（ホン）さんからのお話…

- 〔ホンさんは、約20年くらい前に、ご主人の仕事の関係で日本にやってきた。〕
- ホンさんは、日本に初めて来たとき、とても日本が怖かった。
- （韓国の学校では、日本が戦争で韓国にひどいことをしたことを勉強していたから。だから、日本人はとっても怖いんじゃないかと心配していた。）
- でも、そんなことはなかった。みんなとてもやさしくて、安心した。
- 〔第二次世界大戦：韓国併合・植民地化、徴用工問題、竹島問題〕

子どもたちの反応（気づきや感想）

○「戦争で、日本が韓国を自分の国にしてしまったから、自分の土地を持ってなくなっ

- てしまったんだ。だから日本のことがあまり好きではない人が多いんだ。」
- 「李さんたちは、戦争のせいで、韓国に帰ることができなくなってしまったんだ。だから、日本に住むには、日本の名前もつけなくちゃいけなかったんだ。」
  - 「李さんは、林さんという日本の名前がある理由が分かった。」「洪さんは、戦争の後、日本に来たから、韓国の名前があることが分かった。」
  - 「李さんと洪さんは、戦争で大変な思いをしたのに、“日本のことが好き”と言ってきて、とってもうれしかった。」
  - 「朝鮮半島が大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国に分かれた理由が分かった。」
  - 「まだ、韓国は戦争が終わっていないんだ。その中でも、韓国の人たちががんばっていることがすごいと思った。」
  - 「あの韓国のグループの人たちも、軍隊に入らなければいけないことが、びっくりした。」
  - 「はじめは、(反日感情のことが)とてもショックだったけれど、自分ももっともっと韓国を好きになって、韓国の人にも日本が好きって言ってもらえるようにしたい。」
  - 「韓国のグループをもっと応援したくなった。」
  - 「ぼくたちの日本の食べ物やお菓子を、韓国の人たちにも紹介したい。」
  - 「韓国の人たちは、戦争でたくさん悲しい思いをしているのに、がんばっていることがすごいと思った。」
  - 「松代の大本営に行って、戦争のことをもっと知りたくなった。」
  - 「大韓民国のことが、もっと知りたくなった。ハングルをおぼえたい。」
  - 「オリンピックやワールドカップの大会で、韓国も応援したい。」
  - 「李さんや洪さんが日本が好きだと言ってきて、とってもうれしかった。だから、私も、もっと韓国のグループを応援して、韓国をもっと好きになりたい。」
- ※韓国民団の李さん・洪さんのお話から、子どもたちは自分たちが抱いたいくつかの疑問の答えを自分なりに考え、学習プリントにまとめたり、発言したりする姿が見られた。



学習の最後の場面で…

李さん・洪さんとの交流の最後に、子どもたちみんなでお礼に韓国の民謡♪アリラン♪を歌った。精一杯気持ちを込めて歌う子どもたちの姿と、そっと涙をぬぐいながら一緒に歌ってくださる李さん・洪さんの姿が大変印象的であった。(教師も胸が熱くなるひとときであった。)そして、「キムチづくりで、李さん・洪さん、また来てね!」と元気いっぱい手をふり、お二人を見送る子どもたちの姿に、教師も明日への活力をもらった。

示唆されたこと (総合的な学習の時間・平和学習の観点から)

○ウエビングマップ作成の大切さ：柔軟で多様な支援を可能にするために

白菜の栽培でウエビングマップを作成したことで、子どもたちが興味・関心が高い事象に対応することができた。子ども側と教師側では、学習の過程で、目を向けている事象(関心事等)が異なり展開していくことがある。ウエビングマップを作成しておくことで、子どもたちの興味・関心に柔軟に対応していくことができた。

○体験・交流を行うことの意義

李さんや洪さんのお話は、歴史的な背景や現在の状況が複雑に絡んだ問題であり、4年生の子どもたちの知識や情意の面から考えると、やや難しいのではないかという思いがあった。

しかし、子どもたちは、約25分という時間の中、真剣なまなざしでお二人の話を聴こうとする姿が見られた。〔韓国民団の方々の人生の歩み（生き様）・思い・願いを感じ、受け止め、自分の生き方や平和について考え、問い直していく子どもたちの姿。（李さんと洪さんの熱い思いが子どもたちの心に伝わっている姿が感じられた。）〕

子どもたちが学んだ事は、歴史的な事実や学習問題の答えだけではなく、李さん洪さんの“戦争への、日本への、子どもたちへの思い・願い”だったのではないかと感じた。直接お会いしてお話を聞かなければ、学ぶこと・感じることのできない学習であったのではないかと思われた。

平和と友好、それは韓国と日本の相互理解の上で成り立っていくものであることを教師も改めて実感することができたように思う。

### III 実践から学んだ成果と課題

#### (1) 総合的な学習における教材研究の大切さ

教師自身の足で事前に調べ、子どもの目線になって学ぶことが重要である。その取り組み・努力が教材化を進め深めていくことになる。

ウェブマップを作成することで、単元の展開が見えてくると同時に、子どもたちの様々な興味・関心・疑問等の変化や進展に柔軟に対応することができる。

#### (2) 「総合的な学習の時間」のねらいである“人”について

本年度の実践研究から、「人」の先に見える物（もの）のとらえが大切であることが分かった。

「人」の先にある物（もの）にふれること→「どんな思いや願いを持って、働いているのか」=その人の思いを感じること=その人の生き方に触れること

平和学習においても「人」そして「人の先にある物（もの）」にふれていくことが、意義のある平和学習へとつながっていくのではないか。

#### (3) 体験・交流活動の重要さと活動の場の設定のあり方

人の思い・願い・生き方を感じ、受け止めていく手だてとして、体験・交流という場を設定することは、大変有効であり重要であった。

体験・交流という活動は、五感全体を使って直接学ぶことができる場であり、子どもたちの受け止めもより強く、鮮明になるのではないかと感じる。

その意味で、交流・体験活動の場を設定するに当たり、「何のために・なぜこの体験活動・交流活動をするのか」その目的を教師も子どもも明確に持つことが大切である。そして子どもたちが「その活動をどうしてもしたい！しなくてはいけない！」という意識（動機）を持って取り組んでいくことが大切であると思われた。単にお話を聞いて学ぶという活動にしてはいけないと感じた。〔平和の大切さ・尊さを考える上で、大事にしていきたい。〕

### IV 最後に…

「総合的な学習の時間」の目標（意義）そのものが、平和学習とつながっていることを改めて実感できたように思う。

※人の生き方に触れ、考え、自分を振り返り、自分のあり方・生き方を考えていくことが、相互理解（寛容・尊敬・いたわり・思いやり）に支えられた、文字通り平和学習へとつながっていくように感じられた。

平和学習には様々な方法・形態が考えられるが、「ひと・こと・もの」から生き方を学んでいく「総合的な学習の時間」を通して、実践を重ねていくことを今後も大事にしていきたい。

